

平成27年度

**福岡市美術館
活動の記録**

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2015

平成27年度

**福岡市美術館
活動の記録**

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2015

目 次

凡例	3
美術館の主要事業	4
美術館日誌	4
美術館リニューアル事業	4
展示活動	5
特別企画展	5
公募展	9
常設展	10
常設企画展	13
展覧会関連記事	14
教育普及活動	17
こどもアートアドベンチャー	17
つきなみ講座	18
福岡ミュージアムウィーク2015	19
夏休みこども美術館2015	20
ファミリーDAY	21
美Zoo美術館 アート×アニマル	22
いきヨウヨウ講座	22
博物館実習	23
職場体験学習	23
読書室企画	23
ボランティア活動	24
出版物	28
連携・協力事業	30
福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館連携企画	30
協力事業	31
調査研究活動	32
紀要の発行	32
館外調査	32
収集活動	33
美術資料	33
図書・映像資料	36
美術資料の修復・貸出	37
修復	37
貸出	38
施設の利用状況	42
展示室	42
講堂等	48
入場者数一覧	49
平成27年度月別観覧者数	49
読書室利用者数一覧	49
名簿	50

本冊子は福岡市美術館の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH27は平成27年の略字である。

主要展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。

「収集活動」の「美術資料」の購入は平成27年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は、高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料(8)および奥村資料(10)であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に正式に移管した。

1	郷土作家 ^(注1)		
2	日本作家		
3	海外作家		
4	黒田資料		
5	東光院仏教美術資料	A	油彩画等 ^(注2)
6	松永コレクション	B	日本画等 ^(注3)
7	太田コレクション	C	水彩等 ^(注4)
9	石村コレクション	D	素描
11	森山コレクション	E	版画
12	三宅コレクション	F	写真
13	山崎朝雲資料	G	彫刻等 ^(注5)
14	一般古美術資料	Ha~Hf	工芸 ^(注6)
15	研究資料	I	書跡
16	西本コレクション	J	文書
17	本多コレクション	K	その他
18	クスマコレクション	L	映像
19	藤森静雄資料		
20	森田コレクション		
21	川村コレクション		
22	栗田コレクション		

作品番号

例) 1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注

- 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
- A(油彩画等)の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から観賞される壁面展示の作品、版画技法を用いても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
- B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
- C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
- G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
- H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

美術館日誌

平成27年

4月 28日(火)	アンコール・ワットへのみち 神々の彫像(6月14日まで)
5月 16日(土)	福岡ミュージアムウィーク2015(5月24日まで)
6月 2日(火)	美術資料収集審査会(古美術)
7月 21日(火)	平成26年度美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
8月 8日(土)	肉筆浮世絵の世界 美人画, 風俗画, そして春画(9月20日まで)
8月 20日(木)	平成27年度第1回美術館協議会
10月 6日(火)	藤田美術館の至宝 国宝 曜変天目茶碗と日本の美(11月23日まで)
11月 3日(火・祝)	開館記念日につき常設展観覧料無料
12月 22日(火)	マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 「印象, 日の出」から「睡蓮」まで(28年2月21日まで)

平成28年

1月 12日(火)	美術資料収集審査会(近現代美術)
2月 25日(木)	「第50回福岡市美術展」入賞・入選者発表
3月 8日(火)	「第50回福岡市美術展」開催(3月21日まで)
3月 13日(日)	「第50回福岡市美術展」表彰式
3月 17日(木)	平成27年度第2回美術館協議会
3月 25日(金)	美術資料収集審査会(古美術)

福岡市美術館リニューアル事業

1 事業目的

福岡市美術館は昭和54年11月の開館から36年が経過し、施設・設備の老朽化、スペース不足、ユニバーサル化の遅れなど様々な問題を抱えている。本事業は、民間活力やノウハウを活用することで、大規模改修及びリニューアル後の維持管理・運営を効果的・効率的に実施するとともに、ソフト・ハードの両面においてさらなる魅力の向上を図ることを目的とする。

2 事業方式

事業方式：PFI(RO)方式

事業類型：サービス購入型、一部独立採算(レストラン等)

3 事業者の選定方式

総合評価一般競争入札方式

4 契約の相手方等

契約の相手方：福岡アートミュージアムパートナーズ株式会社

事業期間：平成28年2月23日から平成46年3月31日まで

5 事業範囲

設計・建設業務	実施設計、改修工事、工事監理など
開館準備業務	リニューアル広報、収蔵品等情報システム開発など
維持管理業務	建築物及び設備保守管理、清掃、警備など
運営業務	利用者対応、広報・集客、レストラン・カフェの運営など

6 事業スケジュール

平成27年 4月	入札公告
10月	落札者の決定・公表
2月	事業契約の締結
平成28年 9月	閉館
平成30年 3月	リニューアルオープン

特別企画展

アンコール・ワットへのみち 神々の彫像



ポスター-B1



会場風景

会期 平成27年4月28日(火)～6月14日(日)
会場 特別展示室A
内容 9～15世紀にかけて現在のカンボジア領域を中心に強大な勢力を誇ったアンコール王朝は、世界遺産アンコールワットに代表される豪華華麗なヒンドゥー教、仏教の石造美術を各地に残した。この展覧会では、小国が乱立したプレ・アンコール時代(8世紀以前)から、アンコール王朝が成立して以降の時代をつぶさに網羅したヒンドゥー教、仏教の丸彫り像群を展覧し、アンコール彫刻の造形美の変遷をたどり、東南アジア史上に燦然と輝くアンコールワット美術の成立過程を辿った。またアンコール王朝の盛期にあたる11～13世紀に現在のミャンマー領域のほぼ全域に君臨したパガン王朝や、パガン王朝に先立つ6～11世紀頃にかけて現在のタイ領域を中心に繁栄した仏教大国ドヴァーラヴァティー国の石造美術なども展示し、インドシナ半島における豊かな宗教彫刻の世界を紹介した。

出品点数 116件
主催 福岡市美術館、TVQ九州放送、西日本新聞社
後援 福岡県、福岡県教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKUOKA、LOVE FM、西日本鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社、(一社)日本自動車連盟福岡支部、福岡市タクシー協会、福岡商工会議所、(一社)日本旅行業協会、西日本文化サークル連合、西日本新聞 TNC 文化サークル

観覧料 一般1,300円(1,100円)、高大生800円(600円)
 小中生500円(300円)
 ※()内は前売り、20人以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
 ※ 以下は観覧無料
 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名
 ・特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者

開催日数 42日間
観覧者数 22,151人
印刷物 【ポスター】B1、B2、B3
 【チラシ】A3 観音折り
 【図録】A4・192頁

展覧会担当：後藤恒

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
5月16日(土)	記念講演会 「クメール彫像の時代と形の変遷」	14:00～15:30	講師：島津法樹(東南アジア美術研究家) 聴講者数：180人	講堂
5月23日(土)	つきなみ講座 「アンコール時代の遺跡と美術」	14:00～15:30	講師：後藤恒(当館主任学芸主事) 聴講者数：50人	教養講座室

肉筆浮世絵の世界 ー美人画、風俗画、そして春画ー



ポスターB2



会場風景

会期 平成27年8月8日(土)～9月20日(日)
会場 特別展示室A
内容 現代に名を残す浮世絵師の多くが、筆で描いた絵画である「肉筆浮世絵」(浮世絵師による肉筆画)を手がけたが、1点物である肉筆画の展示公開の機会は極めて限られている。本展では、展覧会準備中に新たに発見された喜多川歌麿《花魁と禿囃》を含む、68名の浮世絵師による作品と無款の作品合わせて約170点の肉筆画を展示し、浮世絵の黎明期から終焉期までを辿った。また多くの浮世絵師が手がけた画題でありながら一般の目に触れることが少なかった春画を、浮世絵の重要な一部分として取り上げ、肉筆画を中心として代表的な版画も合わせて約30点(180図)を「春画展示室」(18歳以上のみ入室可能)で展示した。会期中、女性のみ・男性のみを対象としたギャラリートーク付き夜間開館「レディースナイト」「メンズナイト」を行い、春画を含む肉筆浮世絵の全容に親しく触れる機会を設けた。

出品点数 198点
主催 福岡市美術館、西日本新聞社、テレビ西日本
協力 国際浮世絵学会、浮世絵連絡協議会
賛助 YKK、AP株式会社
助成 (公財)福岡文化財団
後援 福岡県、福岡市教育委員会、(公財)福岡文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKU OKA、LOVE FM、西日本鉄道、九州旅客鉄道、(一社)日本自動車連盟福岡支部、福岡商工会議所、西日本文化サークル連合、西日本新聞 TNC 文化サークル
観覧料 一般(18歳以上)1,400(1,200)円、高校生(18歳未満)800(600)円、小中生500(300)円
 ※ ()内は前売り、20人以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
 ※ カップルチケット:2枚2,000円、サンキューチケット:図録付き3,900円、着物・浴衣割引(着物・浴衣着用で前売り料金)
 ※ 以下は観覧無料
 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名
 ・特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害者等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者

開催日数 37日間
観覧者数 48,242人
印刷物 【ポスター】B1、B2、B3
 【チラシ】(A3変形2つ折り)
 【図録】A4変形、「本編」及び「春画編」2冊組み
 展覧会担当: 吉田暁子、中山喜一郎

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
8月 8日(土)	特別講演 福岡文化財団 プレゼンツ「肉筆浮世絵の魅力」	13:30～15:00	講師: 小林忠 (国際浮世絵学会会長、岡田美術館館長) 聴講者数: 142名	講堂
8月12日(水)	ふじみんと行く 粋な☆女子トーク企画 夜の美術館「浴衣de春画鑑賞ツアー」	16:30～19:00	講師: 藤見里沙(NPO法人マドレボニータ) 主催: NPO法人マドレボニータ 定員: 15人 対象: 20歳以上の女性 参加費: 3,500円(ペア割引3,000円)	教養講座室・特別展示室A
8月15日(土)	特別講演 「浮世絵春画の面白さと特色」	13:30～15:00	講師: 早川聞多(国際日本文化研究センター文化資料研究企画室元教授) 聴講者数: 195名	講堂
①8月16日(日) ②9月 8日(火)	レディースナイト	17:30～19:30	ギャラリートーク講師: 吉田暁子(当館学芸員) 参加者数: ①321名 ②190名	特別展示室A
8月22日(土)	特別講演「美人」という夢 ー葛飾北斎(畚余美人図)(氏家浮世絵コレクション)を中心にー	13:30～15:00	講師: 河野元昭(京都美術工芸大学学長、秋田県立近代美術館館長) 聴講者数: 212名	講堂
8月23日(日)	メンズナイト	17:30～19:30	ギャラリートーク講師: 中山喜一郎(当館副館長) 参加者数: 111名	特別展示室A
9月12日(土)	記念講演「歌麿新発見作品めぐって」	14:00～15:00	講師: 石田泰弘(国際浮世絵学会理事) 聴講者数: 33名	教養講座室

藤田美術館の至宝 国宝 曜変天目茶碗と日本の美



ポスターB2



会場風景

会期 平成27年10月6日(火)～11月23日(月・祝)

会場 特別展示室A

内容 大阪市の中心部に建つ藤田美術館は、明治初年から大正年間にかけて、大阪の旧男爵・藤田傳三郎氏と、長男平太郎、次男徳次郎両氏の2代3人によって収集された名品を公開するため、昭和29年に開館された。2,111件の収蔵品は、仏教美術、絵巻、水墨画、近世絵画、書蹟、陶磁器、彫刻、漆工、金工、染織、考古資料など多岐にわたり、うち9件が国宝、52件が重要文化財に指定されている。なかでも、茶道美術品は全国的に有名で、特に徳川家康が水戸徳川家に与えたとされる国宝「曜変天目茶碗」は、世界に3碗しか現存しないといわれている天目茶碗の最高傑作の一つである。本展は「曜変天目茶碗」をはじめとする茶道具を中心に、陶磁器、仏教美術、書蹟、近世絵画など、日本屈指の東洋・日本美術コレクションを誇る藤田美術館の至宝の数々を一堂に公開する九州初の機会となった。

出品点数 124件

主催 福岡市美術館、朝日新聞社、九州朝日放送

特別協力 (公財)藤田美術館、藤田観光株式会社

協賛 大伸社

後援 福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、yab山口朝日放送

協力 日本HP

観覧料 一般1,400円(1,200円)、高大生800円(600円)
 ※ ()内は前売り、20人以上の団体および満65歳以上の方の割引料金
 ※ 以下は観覧無料
 ・小中学生
 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名。
 ・特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者

開催日数 43日間

観覧者数 32,072人

印刷物 【ポスター】B1、B2、B3
 【チラシ】東京会場と共通：A3二折り、福岡展独自：A3半幅縦二折り
 【図録】A4変形・236頁

展覧会担当：岩永悦子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
9月24日(木)～29日(火)	プレイベント 藤田美術館の至宝 三好和義写真展	10:30～18:00	三好和義氏撮影の出品作品写真をパネル展示	朝日さんさん広場 (リバーウォーク北九州4階)
10月18日(日)	記念講演会 「曜変天目の青に宇宙を見た」	14:00～15:30	講師：三好和義(写真家) 聴講者数：180人	講堂
11月1日(日)	記念座談会 「藤田コレクションの成立とその魅力」	14:00～15:30	対談者：藤田清(藤田美術館館長)、出川哲朗(大阪市立東洋陶磁美術館館長) 聴講者数：250名	講堂

マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 「印象、日の出」から「睡蓮」まで



ポスターB2



会場風景

会期 平成27年12月22日(火)～平成28年2月21日(日)
会場 特別展示室A・B
内容 印象派の巨匠として知られるクロード・モネは、晩年多く
 の作品を最期まで手元に残した。これらは息子のミシェル
 が相続し、その後、マルモッタン・モネ美術館に遺贈された。
 本展は、マルモッタン・モネ美術館が所蔵するモネのプラ
 イベート・コレクションの中から、モネが晩年に何度も取り組
 んだ「睡蓮」や「日本の橋」や、10代後半で描いたカリカ
 チュア(風刺画)、30代から40代の風景画等を紹介した
 ものである。これに加え、ド・ペリオ・コレクションの中から
 《印象、日の出》や《ヨーロッパ橋、サン＝ラザール駅》
 《雪の効果、日没》を含む計89点を展示した。この展覧会
 で、20万人を超える入場者数を記録し、九州各地を中心
 に大きな反響を得た。

出品点数 89点(《チュイルリー公園》除く)
主催 福岡市美術館、福岡放送株式会社、読売新聞社
協力 エールフランス航空/KLMオランダ航空
企画協力 NTVヨーロッパ
助成 文化庁(美術品補償制度)
協賛 第一生命、光村印刷、損保ジャパン日本興亜、日本通運、
 ふくおかフィナンシャルグループ、第一交通産業、マリンハ
 イドロテック、(公財)福岡文化財団

特別協賛 大成建設
後援 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、福
 岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公財)
 福岡市文化芸術振興財団、NIB長崎国際テレビ、くまも
 と県民テレビ、KRY山口放送、KYT鹿児島読売テレビ、
 TOSテレビ大分、UMKテレビ宮崎、広島テレビ

観覧料 一般1,500円(1,300円)、高大生1000円(800円)、
 小中生500円(300円)(12/22-27は小中生無料)
 ※20人以上の団体および満65歳以上で年齢確認のため健康
 保険証や運転免許証等の提示者は()内の前売り料金
 ※早割ペア券2,000円、前期・後期セット券2,000円、グッズ付
 券:一般1,300円・高大生800円・小中生300円
 ※以下は無料
 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の提
 示者とその介護者1名。特定疾患医療受給者証、特定医療
 費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療
 受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者、未就
 学児。

開催日数 52日間
観覧者数 208,994人
印刷物 【ポスター】B1、B2、B3
 【チラシ】A4、A3変形3つ折り
 【特典ハガキ】バレット型
 【図録】A4変形・196頁

展覧会担当：渡抜由季

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
1月16日(土)	記念講演会 「印象派—西洋絵画を変えた画家たち」	14:00～16:00	講師：三浦篤(美術史家、東京大学教授) 聴講者数：168人	講堂
1月24日(日)	記念講演会「世界でいちばん幸福な 場所—ジヴェルニー訪問 モネの光を求めて—」	14:00～16:00	講師：原田マハ(作家) 聴講者数：140人	講堂
2月4日(木)	記念講演会 「《印象、日の出》の真実」	13:30～14:30	講師：マリアンヌ・マチュー(マルモッタン・モネ美術館副館長) 聴講者数：242人	講堂

公募展

第50回 福岡市美術展



ポスター-B2



ギャラリートークの様子

会 期 平成28年3月8日(火)～3月21日(月・祝)
 前期(日本画、書、写真、デザイン)3月8日～3月13日
 6日間
 後期(洋画、彫刻、工芸)3月15日～3月21日 7日間

会 場 特別展示室 A・B 市民ギャラリーA・B・C・D

内 容 美術の各分野における市民の創作活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的とした公募展。50回目となる今回は、第50回記念事業として、ネクスト新人賞を創設した。

出品及び展示状況

区 分	日本画	洋画	彫刻	工芸	書	写真	デザイン	計
出品(応募)人数	26	235	12	55	195	315	35	873
出品(応募)点数	29	303	14	68	196	457	39	1,106
展 示 点 数	入賞・入選	27	140	14	53	145	31	604
	招待・審査員	3	5	5	5	4	6	31
	計	30	145	19	58	149	200	635

入 賞 者 (1)福岡市美術展特別賞1人(書)賞金20万円
 (2)市長賞7人(各部門1人)賞金各10万円
 (3)ネクスト新人賞6人(各部門1人)賞金各5万円
 (4)市議会議長賞2人(日本画・写真)、福岡市美術連盟賞1人(書)、市教育委員会賞1人(工芸)、福岡文化連盟賞1人(デザイン)、福岡市文化芸術振興財団賞1人(彫刻)、西日本新聞社賞 3名(洋画・写真・書)、福岡県美術協会賞1人(洋画)賞金各3万円
 (5)福岡県美術協会奨励賞2名(彫刻・工芸)、福岡市美術連盟奨励賞2人(日本画・洋画)
 (6)奨励賞67人(日本画部門3名・洋画部門17名・彫刻部門2名・工芸部門5名・書部門10名・写真部門26名・デザイン部門4名)

主 催 後 援 福岡市、福岡市教育委員会、福岡市美術展運営委員会
 福岡県、(公社)福岡県美術協会、福岡文化連盟、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、福岡市美術連盟

観 覧 料 一般400円、高校・大学生300円、中学生以下無料

開 催 日 数 13日間

入 場 者 数 4,499人

印 刷 物 【ポスター】B2
 【図録】A4変形102頁
 ※第50回記念事業の記念図録として制作
 【開催要項】A3

関連イベント

日	イベント名	内容	会場
3月13日(日)	表彰式 時間 14:15～15:15	出席者:奨励賞以上入賞者80人	講堂
①3月13日(日) ②3月21日(月・祝)	ギャラリートーク 時間 13:00～13:45(3月13日) 15:00～16:00(3月21日)	審査員によるギャラリートーク(解説、講評)を各会場にて開催 参加者合計約460人 ①日本画(20人)、書(50人)、写真(200人)、デザイン(30人) ②洋画(100人)、彫刻(20人)、工芸(40人)	特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
3月13日(日)	第50回記念事業記念講演会 時間 15:30～17:00	演題 「芸術に生きる人生 花開く」 講師 嵐山光三郎(作家) 参加者220人	福岡市美術館 講堂
3月13日(日)	第50回記念事業レセプションパーティー 17:30～18:30	招待者6人 一般参加者77人 計83人 ※会費制により開催	福岡市美術館 カフェテラスなかむら

その他関連企画 1口メッセージによる支援金募集及びメッセージの新聞紙面掲載

内容:1口5,000円で、美術、福岡市美術展への応援メッセージ(17字)を募集し、メッセージ192件を平成28年2月29日(月)、西日本新聞朝刊(九州版)7段広告に掲載。

常設展

近現代美術室

■TRACES | 轍 一近現代美術コレクション形成のあゆみをたどる

平成27年6月16日(火)～平成28年8月31日(水)
福岡市の近現代美術セクションでは、20世紀以降(明治時代以降)の国内外および九州・山口地域の様々な美術動向を代表する作品を収集対象としている。当館の収集第一号は、美術館開館(1979年11月3日)前の1974年に購入したラファエル・コラン《海辺にて》。あれから40年を経た現在、ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聴いている踊り子》やサルバドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》、アンディ・ウォーホル《エルヴィス》を含む近現代美術コレクションは12,000点を超えている。点数もさることながら、その内容は当館の特色の一つと言えるものとなった。

2階常設展示室の中でも一番広い近現代美術室では、これまで当館所蔵の近現代美術作品のなかから代表的な作品をテーマ別・時代順で展示紹介してきた。本展では、2016年9月からの休館と2019年3月に予定しているリニューアルオープンを見据え、近現代美術コレクション形成の歩みを辿ることとした。タイトルの「TRACES」とは、作品一つ一つを痕跡物と捉えたことによる。福岡市美術館のコレクションを収集年順にならべ、収集のエピソードを添え、美術館建設の構想時期も入れると40年以上にわたる美術館の活動の歴史を振り返った。

※会期中に作品貸出および作品保存の観点による作品入替あり。2016年度には一部展示替えを予定。(正路)



展示風景

企画展示室

■集積Accumulation

平成27年4月14日(火)～6月7日(日)

「集積」する行為／作品は現代美術の特徴のひとつともいえるものである。当館コレクションのなかから、寄せ集め、積み重ねる行為によって生まれている／集積する状況をとらえた作品を紹介した。草間彌生の素描や彫刻、九州派の作品、伊奈英次の写真など18点を展示。(正路)



草間彌生《夏(1)》1985年

■彫刻／人形

平成27年6月16日(火)～8月23日(日)

嬉野観光秘宝館にかつて展示されていた蠟人形《嬉野弁財天》を中心に、山崎朝雲など、当館の所蔵品、福岡の現代美術家、人形師らの作品により、「彫刻」と「人形」、「美術」と「非美術」との境界を問うた。25点。(山口)

■中村研一展

平成27年8月25日(火)～10月25日(日)

福岡県宗像市出身の中村研一(1895-1967)。この画家の作品を福岡市美術館は戦後の作品を中心に154点所蔵している。本展ではそのなかから油彩画26点を主題別に展示し、戦争画を描いた画家としても知られる中村研一の戦後の歩みを追った。(正路)

■常設企画展 九州派展

平成27年10月28日(水)～平成28年1月17日(日)

※p.13を参照

■鉄の美術

平成28年1月19日(火)～4月10日(日)

「鉄」に取材した作品を特集し、溶けて流れる姿、冷たく光る姿、朽ちていく姿など鉄の見せる多様な表情に光を当てた。横山操による大画面の日本画《溶鉱炉》、阿部守による陶磁器の窯で焼成した鉄のオブジェ《火焰鉄》(11点)など平面・立体作品22点を展示した。(吉田)



横山操《溶鉱炉》1956年

小作品集

■西本コレクション展 一畦地梅太郎と山男一

平成27年4月14日(火)～6月7日(日)

愛媛県生まれの畦地梅太郎(1902-1999)は上京して内閣印刷局に勤務する傍ら、制作活動を行っていた。1927年には印刷局を退職し版画に専念。山や家族をテーマとした作品で知られる畦地だが、本展では西本コレクションの中から「山男」をテーマに17点紹介した。(渡抜)



畦地梅太郎《山湖のほとり》1983年

■新収蔵品展

平成27年6月16日(火)～8月23日(日)

平成26(2014)年に福岡市美術館が新たに収蔵した近現代美術作品の中から16点を紹介した。(渡抜)



レオナルド・フジタ(藤田 嗣治)《栗色の髪の女》制作年不詳

■靉嘔 虹のエロス 平成27年8月25日(火)～10月25日(日)

靉嘔(1931-)による浮世絵春画に取材した版画作品《レインボー北斎》と、版画集《レインボー・パッセズ・スローリイ》合わせて19点を展示した。(吉田)

■常設企画展 九州派展

平成27年10月28日(水)～平成28年1月17日(日)

※p.13を参照

■藤野一友展

平成28年1月19日(火)～4月10日(日)

独自の幻想絵画を確立するも、病のため若くして筆を絶たれた画家・藤野一友(1928-1980)。当館が所蔵する数多の作品・資料の中から今回は代表的な油彩画を数点展示するとともに、小品に焦点を当て、画家の世界観を紹介した。油彩、水彩、素描およびスケッチブックや資料を展示。(正路)



藤野一友《題不詳》1959年

日本画工芸室

■和田三造展

平成27年4月14日(火)～6月7日(日)

1958年に博多帝国ホテル大広間の壁画として公開された和田三造《博多繁昌の図》、《西都政庁の図》の習作20点(油彩、水彩、素描)を展示した。2点の制作過程については未詳の事柄が多いが、本展により全体構図の変化や細部の異同が確かめることができた。(吉田)



和田三造《「西都政庁の図」習作》1958年

■夏休み子ども美術館2015 きるものをみる

平成27年6月16日(火)～8月23日(日)

※p.20を参照

■吉田博展 一画家・夫・父として一

平成27年8月25日(火)～10月25日(日)

自然風景の画家として有名な吉田博(1876-1950)。その家族もまた博の影響を受け作家としての道のりを歩んだ。息子である遠志(1911-1995)の動物を主題とした木版や穂高(1926-1995)の独自の製版技術、妻であるふしをの画風の変化等、当館所蔵作品から吉田博を中心に「吉田家」の人々の関連作品24点を紹介した。(渡抜)



吉田博《子ども》1927年

■常設企画展 九州派展

平成27年10月28日(水)～平成28年1月17日(日)

※p.13を参照

■冬のおとなミュージアム

秘密-かくす-のぞく-あばく

平成28年1月19日(火)～2月28日(日)

※p.30を参照

■日本画名品展

平成28年3月1日(火)～4月10日(日)

横山大観、橋本関雪、富田溪仙、堅山南風の屏風絵を所蔵品、寄託作品4点で紹介した。(山口)

古美術企画展示室

■インドネシアの染織-パティックの楽しみ-

平成27年4月14日(火)～6月7日(日)

インドネシアのパティックは、インド染織に大きな影響を受けながら、ヨーロッパ系、中国系などの文化とも一体化して育まれてきた。手紡ぎの糸を使った古いタイプのものから、サロン(腰衣)やバジュ・パンジャン(腰布)まで、多様な文化が交錯して生まれたパティック25点を展示。(岩永)

■新収蔵品展

平成27年6月16日(火)～8月9日(日)

平成26年(2014)度に新しく福岡市美術館に収蔵された古美術資料を公開。伊万里、柿右衛門様式、鍋島といった華麗な九州古陶磁の器や、東アフリカの民族衣装カンガなど43件を公開。(後藤)



伊万里 色絵牡丹唐花文鉢 江戸時代

■九州古陶の美 田中丸コレクション

平成27年6月16日(火)～11月29日(日)

卓越した九州古陶磁の蒐集で知られる田中丸コレクションを紹介するコーナー展示。前半期は、茶器の「銘」に焦点をあて各地の窯の茶碗・茶入など20件、後半期(9月8日～)は上野、八代、小代をテーマに15件を展示した。(後藤/一般財団法人田中丸コレクション学芸員 久保山氏)



高取四方耳付水指 銘若葉雨 桃山時代

■本多コレクション展

平成27年8月11日(火)～9月27日(日)

インドシナ半島古陶磁の一大コレクションとして知られる本多コレクションから、中国南部で生産された交趾焼、味わい深い作風が魅力のミャンマー漆器など、多彩な陶磁、工芸品43件を紹介。(後藤)



蒔罫牡丹唐草文壺 ミャンマー 19-20世紀

■七色の煌き一螺鈿 平成27年9月29日(火)～11月29日(日)

螺鈿は、ヤコウ貝やアワビ貝などの貝殻を文様に切って木地や漆地の面に貼りつけ、または埋め込んで装飾する技法。日本(中近世)、琉球王国、中国元・明王朝、朝鮮王朝の各時代の螺鈿漆器28件を紹介。(後藤)

■仙厓展 平成27年12月1日(火)～平成28年1月31日(日)

当館では開館以来、収蔵品を通して仙厓を紹介する展示を毎年実施している。今回は過去に展示歴の多い、“売れっ子”の作品を中心に、寄託品や、近年新たに収蔵品に加わった作品も交えて、仙厓の画業をたどった。(宮田)



仙厓義梵筆 子孫繁昌図 江戸時代

■美Zoo美術館 アート×アニマル 平成28年2月2日(火)～4月10日(日)

※p.22を参照

松永記念館室

■春の名品展 平成27年4月14日(火)～6月7日(日)

桜咲く春日野の景が描き込まれた《春日社寺曼荼羅図》、見込み一杯に水辺の菖蒲を描いた《志野あやめ絵鉢》など、春から初夏にふさわしい名品15件を展示。(後藤)



志野あやめ絵鉢 桃山時代

■大名の茶 平成27年6月16日(火)～8月9日(日)

千利休の高弟には古田織部など有名な武将が含まれていることが知られている。茶の湯の精神と文化は、江戸時代以降も武家社会において連綿と引き継がれてきた。古田織部などの戦国武将ゆかりの作品と、黒田家をはじめとする大名家の旧蔵品など、18点を展示。(岩永)

■仏と美 平成27年8月11日(火)～9月27日(日)

白鳳時代の仏像《銅造菩薩半跏像》(重文)、平安時代の鏡像《線刻十一面観音鏡像》(重文)、鎌倉時代の仏画《文殊菩薩騎獅像》(重美)など、松永コレクションに含まれる仏教美術から厳選した15件を展示。(後藤)



銅造菩薩半跏像(重文) 白鳳時代

■秋の名品展 平成27年9月29日(火)～11月29日(日)

琳派400年を記念して、所蔵品から琳派作品を展示した。また特別展「藤田美術館の至宝 国宝 曜変天目茶碗と日本の美」の開催にちなんで、松永コレクションから出品作品に関連する作品を展示し、あわせて13点を展観した。(岩永)

■茶道具と包裂 平成27年12月1日(火)～平成28年1月31日(日)

茶道具の次第には、所蔵者それぞれの好みが変わられる。これまでも展示してきた黒田家や芸州浅野家伝来の茶道具とその箱や包裂のほか、特徴ある箱をあつらえたことで知られる松平周防守伝来の茶道具とその箱などを中心に、9点の道具とその付属品を展観した。(岩永)

■耳庵のつぶやき 平成28年2月2日(火)～4月10日(日)

実業家、茶人であった松永耳庵翁は、多くの著述の中で時折、自身が蒐めた美術品について思うところや感じることをつぶやき、あるいは語っている。それら耳庵翁が言及した作品に焦点をあて、翁の言葉とともに13件を展示。(後藤)



宮本武蔵(1584-1645)筆 布袋見闘鶏図

東光院仏教美術室

薬王密事東光院(福岡市博多区吉塚)から寄贈された重要文化財を含む仏像を展示。薬師如来立像(平安時代)、十二神将立像(平安時代)など。

■涅槃図公開 平成28年2月2日(火)～4月10日(日)

仏陀釈尊が入滅した3月15日(陰暦2月15日)には、多くの寺院で仏涅槃図を掲げ、釈尊の遺徳を奉賛する「涅槃会」が開かれる。その時節にあわせて、当館に収蔵される仏涅槃図をはじめとする東光院の仏画をコーナー展示にて紹介。

観覧料：一般200円(150円) 高大生150円(100円) 小中生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※以下提示者は無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(以上は介護者1名を含む)、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証、福岡市・北九州市・熊本市・鹿児島市在住で住所と65歳以上を確認できる証明書

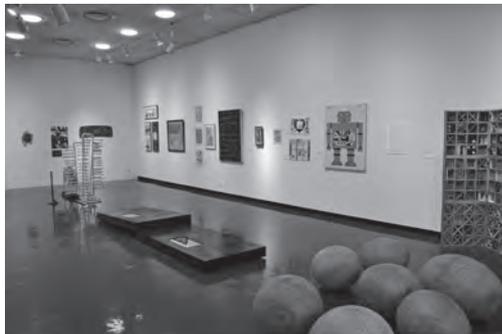
観覧者数：p.49を参照

常設企画展

九州派展



ポスター



会場の様子

会期 平成26年10月28日(水)～平成28年1月17日(日)
会場 日本画工芸室・小作品室・企画展示室
内容 福岡の戦後美術史を語る上で忘れてはならない動向が、前衛美術集団「九州派」の活動である。1957(昭和32)年、桜井孝身、オチオサムらを中心に福岡の若い画家たちが集い、「地方」と「生活」をよりどころに、東京中心の既存の美術システムから独立した活動を展開したグループである。三井三池争議を中心とした労働争議の盛り上がりを背景に、生活者の視点から「前衛」を標榜した彼らは、当時数多くあった前衛グループの中でも異彩を放っている。

当館は、1988(昭和63)年に初めて九州派の回顧展を開催し、以降主要な作品は当館で収集し、折に触れ常設展示を行ってきた。その間に国内外で新たな視点から九州派の再評価がなされつつあり、戦後美術史における九州派の位置は重要性を増している。

本展では、当館所蔵品を中心として、元九州派の美術家、所蔵家、他の美術館の所蔵品など66点を展示し、関連資料の紹介も充実させて九州派の全貌に迫った。グループ結成からまもなく60年が経過しようという今、「地方」で「前衛」を名乗った美術家たちの作品群は、色あせるどころか、むしろ輝きを増している。激動の時代に向き合った画家たちの「熱気」は、「戦後」という時代、「福岡」という地方についての捉え直しを、いま私たちに迫っている。

本展開催に合わせ、当館では「福岡市美術館叢書6九州派大全」を企画編集し、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団より発行した。

出品点数 66点および関連資料
主催 福岡市美術館
助成 芸術文化振興基金、(公財)福岡文化財団
観覧料 常設展示観覧料
開催日数 65日間
観覧者数 21,356人(会期中の常設展観覧者数)
印刷物 【ポスター】B2
 【チラシ】A4

展覧会担当：山口洋三

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
10月31日(土)	つきなみ講座 「九州派とはなにか?その全貌にせまる」	14:00～15:30	講師：山口 洋三 (当館学芸係長) 参加人数：83人	教養講座室
11月 7日(土)	記念講演会 「アンパンと焼酎」	14:00～	講師：成相肇 (東京ステーションギャラリー学芸員) 参加人数：18人	教養講座室

展覧会関連記事

特別企画展

アンコール・ワットへのみち 神々の彫像		
西日本新聞(夕刊)	H27.4.11	彩事館／西日本新聞社の事業／記念講演会を開催／特別展「アンコール・ワットへのみち 神々の彫像」／28日から福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H27.4.23	神々の横顔「アンコール・ワットへのみち」から(上)／ブラフマー像 人体の理想美追求／(福岡市美術館学芸員・後藤恒)
朝日新聞(夕刊)	H27.4.24	カルチャー福岡／アンコール・ワットへのみち 神々の彫像
西日本新聞(朝刊)	H27.4.24	神々の横顔「アンコール・ワットへのみち」から(中)／プラジュナー・パラミター像 二つの宗教が融和／(福岡市美術館学芸員・後藤恒)
西日本新聞(朝刊)	H27.4.26	神々の横顔「アンコール・ワットへのみち」から(下)／ヴィシュヌ像 過去の様式を網羅／(福岡市美術館学芸員・後藤恒)
西日本新聞(朝刊)	H27.4.29	アンコールワット展開幕 福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H27.5.9	特別展「アンコール・ワットへのみち 神々の彫像」 来月14日まで、福岡市美術館／「来世の幸せ」祈り込め／石澤良昭・上智大教授に聞く
西日本新聞(朝刊)	H27.5.18	アンコールワット 彫像にみる形式の変遷／福岡市美術館で展覧会／(野村大輔)
朝日新聞(朝刊)	H27.5.19	人間味あふれる神々の造形／福岡市美「アンコール・ワット」展／(編集委員・中村俊介)
西日本新聞(朝刊)	H27.5.25	アンコール・ワットへのみち 福岡市美術館で来月14日まで／精密な彫刻、肉感まで表現
西日本新聞(朝刊)	H27.5.29	神々の古里 「アンコール・ワットへのみち」から(上)／信仰 石像に祈りを込め
西日本新聞(朝刊)	H27.5.30	神々の古里 「アンコール・ワットへのみち」から(下)／修復 先人の技術習得を
西日本新聞(朝刊)	H27.6.2	「アンコール・ワットへのみち」／神々の世界に触れて／福岡市美術館で14日まで
wa VOL.65 2015 SPRING p.13(福岡市文化芸術振興財団発行)		福岡市美術館／「アンコール・ワットへのみち 神々の彫像」展
月刊みれにあむ 217号 2015年3・4月合併号 p.11(月刊みれにあむ社発行)		福岡市美術館／アンコール・ワットへのみち 神々の彫像
avanti 2015年5月号 p.44(アヴァンティ編集部発行)		AVANTI CULTURE／event&art／2つの宗教が入り混じる、独特の「神」の姿「アンコール・ワットへのみち 神々の彫像」
めざーじゅ No.217 2015年5月号 p.117(サンマーク発行)		EVENT May.2015／アンコール・ワットへのみち 神々の彫像
ばど No.0117 2015年5月号(九州ばど発行)		くらしだより／アート／アンコール・ワットへのみち-神々の彫像-
月刊ギャラリー 2015 VOL.5 p.46(ギャラリーステーション発行)		今月の展覧会 50+／14 アンコール・ワットへのみち 神々の彫像／インドシナ半島の豊かな宗教彫刻
遊人 vol.87 2015年初夏号 p.10(ウィルブランニング発行)		各県おかけ情報／出かけてみませんか／アンコール・ワットへのみち 神々の彫像

肉筆浮世絵の世界—美人画、風俗画、そして春画		
毎日新聞(朝刊)	H27.5.1	ふくおか探索／福岡市美術館 35年ぶりの新装で閉館へ／親しみやすさつくりたい／19年3月開館予定 バリアフリー化や空調更新／改修前に企画展 春画の本格展示室も
西日本新聞(朝刊)	H27.5.8	肉筆浮世絵の世界 美人画、風俗画、そして春画
西日本新聞(夕刊)	H27.5.9	特別展「肉筆浮世絵の世界」／一点物 新しい魅力／8月8日から 福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H27.5.18	本社の事業／特別展「肉筆浮世絵の世界」／8月8日から福岡市美術館／お得なチケット販売
朝日新聞(朝刊)	H27.7.23	歌麿 墨だけの美人画／(上原佳久)
西日本新聞(朝刊)	H27.7.23	歌麿 墨描きの美人画／福岡市美術館来月公開／肉筆、新たに発見 山東京伝が賛文／(南陽子)
西日本新聞(夕刊)	H27.7.23	肉筆浮世絵の世界 特別講演会
毎日新聞(朝刊)	H27.7.23	墨一色の美人画見つかる／浮世絵の歌麿／【林由紀子】
読売新聞(朝刊)	H27.7.23	歌麿肉筆 墨の美人画／福岡市美術館確認／30歳代の作品か
産経新聞(朝刊)	H27.7.23	水墨の歌麿美人画発見／花魁と禿 肉筆、福岡で公開へ
日本経済新聞(朝刊)	H27.7.23	歌麿 墨一色の美人画／正面向く花魁「珍しい」／福岡市美術館、来月公開
西日本新聞(夕刊)	H.27.8.8	彩事館／西日本新聞社の事業／特別展「肉筆浮世絵の世界」
西日本新聞(朝刊)	H27.8.11	特別展「肉筆浮世絵の世界」／北斎作品題材に講演／22日に福岡市美術館講堂で
赤旗	H27.8.21	美術／「肉筆浮世絵の世界 美人画、風俗画、そして春画」
西日本新聞(朝刊)	H27.8.23	特別展「肉筆浮世絵の世界」 福岡市美術館で来月20日まで／感じて江戸の美／一筆に絵師の魂／スペシャルサポーター 杉本彩さん／小林忠・国際浮世絵学会長に聞く／版画とともに理解を／(文・久保田敦、写真・古賀重矢子)
西日本新聞(朝刊)	H27.8.29	Zoom／福岡市美術館で特別展「春画 女心射抜く」「大き過ぎ」「かえって想像」明るく鑑賞／(東伸一郎)／ファッション、文化を感じて／福岡市美術館 中山喜一朗副館長
朝日新聞(朝刊)	H27.9.1	「1点もの」江戸風俗鮮やかに／福岡市美術館「肉筆浮世絵の世界」展／(山崎聡)
西日本新聞(朝刊)	H27.9.7	花時計／(一木朋子)
西日本新聞(朝刊)	H27.9.11	文化／いまを、呼吸／春画はいま、何を語る？／おおらかに性を笑う 明治以降、忘れられた感覚／「多様性こそが魅力」 春画研究者 石上阿希さんに聞く／(野村大輔)
西日本新聞(朝刊)	H27.9.12	肉筆浮世絵展3万人を突破／福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H27.9.12	浮世絵師の肉筆 存分に／福岡市美術館、20日まで／(白石知子)
毎日新聞(朝刊)	H27.9.13	日曜カルチャー／「春画」に光／福岡市美術館／「肉筆浮世絵の世界」に展示室／【渡辺亮一】
西日本新聞(夕刊)	H27.9.16	山東京伝 謎の「賛」／歌麿 定石外の肉筆画／遊女ちかす？幕府処罰に反省？／(塩田芳久)
西日本新聞(朝刊)	H27.9.17	風車／暗いと思えないものがある／(八重桜)
読売新聞(朝刊)	H27.10.5	国内発 大規模な春画展／肉筆の浮世絵や豆判 入場に年齢制限 ※永青文庫「春画展」の記事内で紹介。
朝日新聞(夕刊)	H27.10.21	春画喜びおおらかに／永青文庫などで展示 来場者続々「人間賛歌に共感」／(安斎耕一)
毎日新聞(朝刊)	H27.12.20	美術／大分県立美術館がオープン

西日本文化 No475 2015年7月号 pp.44-46 (西日本文化協会発行)	初期から系統的に構成し春画も特別公開「肉筆浮世絵の世界」展／福岡市美術館(八月八日～九月二十日)／石田泰弘／いしだ やすひろ・国際浮世絵学会理事
でかたび 2015年7月号 p.23 (西日本新聞社発行)	今月の名宝散歩／中山喜一郎 福岡市美術館副館長／葛飾北斎 酔余美人図／これぞ北斎肉筆美人画の真骨頂!
ふるさとの自然と歴史 2015年7月 第365号 p.27 (歴史と自然を守る会発行)	美術館・博物館等文化施設だより／福岡市美術館／企画展 肉筆浮世絵の世界
月刊ギャラリー 2015 VOL.8 p.47 (ギャラリーステーション発行)	今月の展覧会 50+／20 肉筆浮世絵の世界／浮世絵の黎明期から終焉期までを辿る
月刊茶道誌 淡交8月号 p.116 (淡交社発行)	MUSEUM／九州／福岡市美術館 肉筆浮世絵の世界
茶道雑誌 2015年8月号 p.144 (河原書店発行)	福岡市美術館／肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画
月刊ならでわ! vol.194 p.31 (SK-i コーポレーション発行)	情報あれこれ／肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画
avanti 2015年9月号 p.46 (アヴァンティ編集部発行)	約170点に及ぶ「肉筆浮世絵」が一同に! 「肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画－」
茶道の研究8月号 717号 p.72 (大日本茶道学会発行)	中国・九州／福岡市美術館／肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画
月刊茶道誌 淡交9月号 p.120 (淡交社発行)	MUSEUM／九州／福岡市美術館 肉筆浮世絵の世界
茶道雑誌 2015年9月号 p.147 (河原書店発行)	福岡市美術館／肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画
クリム 2015年9月号 p.64 (生活協同組合連合会コープ九州事業連合発行)	ここに刺激を! ARTアート／絵師たちの魂が直筆で迫る! 世界でたった1枚の浮世絵／「肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画－」／文＝木下貴子
月刊はかた 9月号 p.32 (エー・アール・ティ発行)	肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画－／開催中～9月20日(日)
ぐらんざ 2015年10月号 p.51 (ぐらんざ編集部発行)	博物館・美術館／福岡市美術館 肉筆浮世絵の世界展／浮世絵とはこんなに奥が深く多彩であったのか 歌麿の新発見の墨美人画から30点の「春画」まで／廣崎靖邦(ジャーナリスト)
茶道の研究9月号 718号 p.74 (大日本茶道学会発行)	中国・九州／福岡市美術館／肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画
美術手帖 No.1028 p.77 (美術出版社発行)	「春画編」と題した特別コーナーを設置／「肉筆浮世絵の世界－美人画、風俗画、そして春画－
別冊歴史REAL p.65 (洋泉社発行)	7位 歌麿の新たな肉筆画が発見

藤田美術館の至宝 国宝 曜変天目茶碗と日本の美

朝日新聞(夕刊) H27.9.16	美術／美の履歴書419／「曜変天目茶碗」作者不詳／星空はどう生まれたか
朝日新聞(朝刊) H27.9.19	朝日新聞社のお知らせ／「藤田美術館の至宝」展 関連イベント参加者募集
朝日新聞(朝刊) H27.9.30	「藤田美術館の至宝 国宝曜変天目茶碗と日本の美」／家康も愛した大宇宙／九州で初 124件一挙公開／美術品守る実業家の意気／(藤本圭太)
朝日新聞(朝刊) H27.10.3	朝日新聞社のお知らせ／「藤田美術館の至宝」展 6日から福岡市美術館で
朝日新聞(朝刊) H27.10.7	瑠璃色に輝く宝「曜変天目」見て／藤田美術館展開幕／(大崎浩義)
朝日新聞(朝刊) H27.10.7	「藤田美術館至宝」展始まる
毎日新聞(朝刊) H27.10.11	「曜変天目茶碗」など名品一堂に／福岡市美術館 藤田美術館の所蔵品紹介／【渡辺亮一】
朝日新聞(朝刊) H27.10.19	曜変天目茶碗「星空思い撮影」／写真家・三好さん講演
毎日新聞(夕刊) H27.10.20	憂楽帳／曜変天目茶碗【林由紀子】
朝日新聞(朝刊) H27.10.30	「藤田美術館の至宝 国宝曜変天目茶碗と日本の美」／「曜変」に負けぬ逸品／来月23日まで福岡市美術館
朝日新聞(朝刊) H27.11.2	藤田美術館展の作品の魅力解説／館長2人語り合う／(宮崎健二)
朝日新聞(朝刊) H27.11.5	ひととき／自称曜変天目茶碗／(福岡市 芝崎みちる イラストレーター 67歳)
朝日新聞(朝刊) H27.11.10	見／やきもの展 美の饗宴／「曜変」の光／新旧の青磁／有田の迫力／(編集委員・中村俊介)
朝日新聞(朝刊) H27.11.18	異国の風景 絵師の創造力「玄奘三蔵絵 第5巻」／(福岡市美術館 岩永学芸課長)
朝日新聞(朝刊) H27.11.20	伝三郎が愛した迫力・品格「交趾大亀香合」／(福岡市美術館 岩永学芸課長)
朝日新聞(朝刊) H27.11.22	緻密さと伝統の筆さばき「大獅子図」／(福岡市美術館 岩永学芸課長)
ぐらんざ 2015年11月号 p.55(ぐらんざ編集部発行)	博物館・美術館／福岡市美術館「国宝 曜変天目茶碗と日本の美」／九州国立博物館「美の国 日本」／多彩な秋10月 福岡市美に「曜変天目茶碗」初登場／九博は10周年に満を持し総力戦で「美の国日本」再登場／廣崎靖邦(ジャーナリスト)

マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 「印象、日の出」から「睡蓮」まで

読売新聞(朝刊) H27.8.31	「印象、日の出」から「睡蓮」まで／モネ代表作と出会う／12月22日 福岡市美術館で開幕
読売新聞(朝刊) H27.10.26	モネ展名品90点そろそろ／福岡市美術館12月22日開幕／東京展 すでに30万人来場
朝日新聞(夕刊) H27.11.18	評／マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展／光の探究 最晩年の作品も
読売新聞(朝刊) H27.11.30	モネ展 来月22日開幕／福岡市美術館／27日まで 小中生は無料
読売新聞(朝刊) H27.12.10	モネ展 福岡市美術館 22日から／巨匠と出会う瞬間／「睡蓮」シリーズから8点／音声ガイドに田辺誠一さん
読売新聞(朝刊) H27.12.12	「モネ展」貸し切りで鑑賞／来月25日、休館日にバスツアー
読売新聞(夕刊) H27.12.16	モネのレシビ 優しい味／大濠公園の2店 特別メニュー／翻訳本参考に6品 22日から
読売新聞(朝刊) H27.12.17	モネのレシビを再現／福岡・大濠公園の2店 22日から提供
読売新聞(朝刊) H27.12.21	モネ展あす開幕／「ヨロロツ橋、サン＝ラザール駅」など90点／福岡市美術館 2月21日まで／モネに関する講演会を開催
読売新聞(朝刊) H27.12.22	「モネ展」きょう開幕／巨匠の代表作など90点
読売新聞(朝刊) H27.12.22	モネ代表作 来場者を魅了 福岡市美術館
読売新聞(夕刊) H27.12.22	モネ展開幕 福岡市美術館
読売新聞(朝刊) H27.12.23	モネ展開幕 福岡市美術館
読売新聞(朝刊) H27.12.23	来場者「情熱すごい」／福岡市美術館「モネ展」開幕
読売新聞(朝刊) H28.1.3	モネ展1万人 福岡市美術館
読売新聞(朝刊) H28.1.11	モネ展 上／「ヨロロツ橋、サン＝ラザール駅」／近代都市の雰囲気描く／(福岡市美術館学芸員 渡抜由季)
読売新聞(朝刊) H28.1.13	モネ展 中／「ボンボン」付きの帽子をかぶったミシェル・モネの肖像／手放さなかった肖像画／(福岡市美術館学芸員 渡抜由季)
読売新聞(朝刊) H28.1.14	「モネ展」入場者3万人
読売新聞(朝刊) H28.1.15	モネ展 下／「日本の橋」／現代美術、新時代の幕開け／(福岡市美術館学芸員 渡抜由季)
読売新聞(朝刊) H28.1.20	「モネ展」入場者5万人
朝日新聞(朝刊) H28.1.21	イイかも!／マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展／光の画家 ピンクに見た神髄／(山崎聡)
読売新聞(朝刊) H28.1.21	モネ展「印象、日の出」から「睡蓮」まで／朝もやの海 写実にも新風／雪の光 豊かな色彩
読売新聞(朝刊) H28.1.22	モネ展 私の1点(上)／「ヨロロツ橋、サン＝ラザール駅」／驚き生む挑戦に共感／塚地武雅さん(お笑い芸人)

読売新聞(朝刊)	H28.1.23	モネ展 私の1点(中)「睡蓮」/愛した庭 無限に広がる/平野綾さん(女優・声優)
読売新聞(朝刊)	H28.1.24	モネ展 私の1点(下)「バラの小道、ジヴェルニー」/力強い色彩 温かみも/田辺誠一さん(俳優・映画監督)
読売新聞(朝刊)	H28.1.25	原田さんモネの生涯語る/福岡市美術館 講演会に140人参加
読売新聞(朝刊)	H28.1.25	モネの傑作に出会える/福岡市美術館 入場者約6万人に
読売新聞(朝刊)	H28.2.4	「印象、日の出」いよいよ/モネ展
読売新聞(朝刊)	H28.2.5	「印象、日の出」に人波/モネ展
読売新聞(朝刊)	H28.2.9	モネ展10万人 福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H28.2.16	モネ展入場15万人超す
avanti 2016年1月号 (アヴァンティ編集部発行)		マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展「印象、日の出」から「睡蓮」まで
ぐらんざ 2016年2月号 p.51 (ぐらんざ編集部発行)		今月のひと/新作も描き下ろして印象派の巨匠をサポート/話題の田辺画伯が来福のモネ展を語る/俳優・画家 田辺誠一さん
ぐらんざ 2016年3月号 p.39 (ぐらんざ編集部発行)		美術館・博物館/福岡市美術館/マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 「印象、日の出」から「睡蓮」まで/パリ・マルモッタン美術館からモネ90点/福岡で2度あるかどうか「究極の大モネ展」
月刊みれにあむ 大牟田 2016年3月号 p.20 (月刊みれにあむ社発行)		福岡市美術館/マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展「印象、日の出」から「睡蓮」まで/会期/〜2月21日(日)まで

公募展

第50回福岡市美術展		
西日本新聞(朝刊)	H28.2.26	藤井さん(南区)最高賞/福岡市美術館
毎日新聞(朝刊)	H28.2.26	第50回記念福岡市美術展/特別賞 藤井さん(南区)/書部門からは10年ぶり選出/「感謝でいっぱい」/【林由紀子】
西日本新聞(朝刊)	H28.2.27	福岡市美術展 市長賞/集大成 輝く8点/福岡市美術展入賞・入選者
読売新聞(朝刊)	H28.3.1	福岡市美術展 藤井さん特別賞/書「雨後出渓上」で

常設展

集積 Accumulation		
朝日新聞(朝刊)	H27.4.23	イイかも!福岡市美術館「集積 Accumulation」/不気味さに色あせぬ批評性/(山崎聡)

彫刻/人形		
西日本新聞(朝刊)	H27.7.14	彫刻とは?人形とは?/福岡市美術館で企画展示/25点、境界を問う/(南陽子)
朝日新聞(朝刊)	H27.8.4	「美術」の境界線見つめ直す/福岡市美術館「彫刻/人形」展/(山崎聡)
読売新聞(朝刊)	H27.8.15	高村光雲から秘宝館作品まで/福岡市美術館「彫刻/人形」展
毎日新聞(朝刊)	H27.8.21	雑記帳/(馬原浩)

夏休み子ども美術館2015 きるものをみる		
朝日新聞(朝刊)	H27.6.29	着る物に注目 美術鑑賞/福岡でこども向け展覧会/(宮崎健二)

九州古陶の美-田中丸コレクション		
読売新聞(朝刊)	H27.8.1	田中丸善八氏が収集の陶器展示/福岡玉屋元経営者

仙厓展		
毎日新聞(朝刊)	H28.1.21	仙厓展/今月31日まで 福岡市美術館にて
読売新聞(夕刊)	H28.1.29	Information/仙厓展/福岡市美術館で1月31日まで開催中

冬のおとなミュージアム 秘密-かくすのぞくあばく		
読売新聞(朝刊)	H28.1.20	美術の味わい深さを体感/美術・博物館 工作、謎解き...催し様々
朝日新聞(朝刊)	H28.1.28	イイかも!/冬のおとなミュージアム「秘密」展 隠されるほど見たくなる/(山崎聡)

美Zoo術館 アート×アニマル		
朝日新聞(朝刊)	H28.3.31	イイかも!/コレクション展「美Zoo術館」/作品の動物と剥製を見比べ/(山崎聡)

常設企画展

九州派展		
朝日新聞(朝刊)	H27.11.17	「評」美術 福岡市美術館「九州派展」/「学芸員の営み」示す成果/(後小路雅弘・九州大教授)
毎日新聞(朝刊)	H27.12.6	浮かぶ先進性/福岡市美術館「九州派展」創造性/1957〜68 5章構成で軌跡たどる/【渡辺亮一、写真も】
西日本新聞(朝刊)	H27.12.10	九州派展 福岡市美術館/奇跡ものみ込んだ群像芸術/個に帰ったのち広がる宇宙/オチオサム展/福岡市のギャラリー
朝日新聞(夕刊)	H27.12.16	回顧2015/美術/「境界」の存在 問い直す/専門家から非専門家へ/既成の枠組みを越える/(編集委員・大西若人)
毎日新聞(朝刊)	H27.12.20	美術/大分県立美術館がオープン/【渡辺亮一】
読売新聞(朝刊)	H28.1.14	「九州派」回顧展 土着的な前衛美術 福岡市美術館/(西部生活文化部 白石知子)
月刊ギャラリー 2015 VOL.10 p.41 (ギャラリーステーション発行)		今月の展覧会 50+/04 九州派展/福岡で輝いた戦後の前衛美術
美連協ニュース No.128 p.24 (美術館連絡協議会事務局発行)		九州派展/戦後の福岡で産声を上げた、奇跡の前衛集団。その歴史を再訪する。/度肝を抜いたアスファルト作品/(福岡市美術館 山口洋三)
美術手帖 No.1032 pp.222-224 (美術出版社発行)		REVIEWS EX/アリバイかもしれない「九州派展」成相肇 評
芸術新潮 No.793 2016年1月号 pp.136-139 (新潮社発行)		art news/アスファルトとベニヤ板の前衛集団「九州派」がいま蘇る
すばる 2016年2月号 pp.100-103(集英社発行)		プレイヤード美術/「九州派」展/保坂健二郎

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークなどを行っている。

■市内の小・中学校等に対するギャラリートัวร์（スクールツアープログラム）

平成27年

6月23日(火)	花畑中学校※ 2年生	生徒155人	引率10人
6月30日(火)	福岡インターナショナルスクール	児童9人	引率1人
7月 2日(木)	和白丘中学校※ 1年生	生徒229人	引率13人
7月 3日(金)	愛宕小学校 6年生	児童128人	引率4人
7月 7日(火)	田村小学校 3年生	児童91人	引率3人
7月14日(火)	福岡インターナショナルスクール 1,4年生	児童7人	引率2人
7月15日(水)	原小学校 6年生	児童126人	引率4人
9月16日(水)	和白小学校 6年生	児童99人	引率3人
9月17日(木)	西花畑小学校 6年生	児童99人	引率3人
10月 6日(火)	内浜小学校特別支援学級 1-6年生	児童12人	引率4人
10月16日(金)	多々良中央中学校※ 1年生	生徒177人	引率14人
10月27日(火)	東住吉中学校※ 1年生	生徒72人	引率7人
10月29日(木)	北崎中学校※ 1, 2年生	生徒33人	引率7人

平成28年

1月14日(木)	南当仁小学校 2, 5年生	児童220人	引率5人
1月15日(金)	那珂南小学校 5年生	児童92人	引率4人
1月15日(金)	北崎小学校 5年生	児童12人	引率2人
1月21日(木)	姪北小学校 5年生	児童86人	引率4人
2月 3日(水)	西長住小学校 5年生	児童50人	引率3人
2月 9日(火)	多々良中央中学校ステップスクール 1-3年生	生徒7人	引率1人
2月19日(金)	東月隈小学校特別支援学級 2-6年生	児童11人	引率3人
2月23日(火)	原北小学校 5年生	児童98人	引率4人
2月24日(水)	長尾小学校 5年生	児童88人	引率4人
2月24日(水)	内野小学校特別支援学級 2-6年生	児童13人	引率9人
3月 1日(火)	福岡教育大付属福岡中学校 2年生	生徒40人	引率1人
3月 2日(水)	福岡教育大付属福岡中学校 2年生	生徒40人	引率2人
3月 3日(木)	能古小学校 6年生	児童13人	引率2人
3月 4日(金)	壱岐南小学校 5年生	児童93人	引率3人
3月16日(水)	福岡教育大付属福岡中学校 2年生	生徒39人	引率2人
3月16日(水)	当仁小学校 1年生	児童93人	引率5人

※は体験学習による来館校

計 団体数29件 児童・生徒数2,232人 引率数129人

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について話をするというもの。月1回行う。

第1回 これぞゆるキャラ! 畦地梅太郎と山男

講師：渡抜 由季(学芸員) 開催日：平成27年4月25日(土) 14:00～15:30 参加人数：11人

第2回 アンコール時代の遺跡と美術

講師：後藤 恒(主任学芸主事) 開催日：平成27年5月23日(土) 14:00～15:30 参加人数：50人

第3回 日本人と肖像画

講師：錦織 亮介(館長) 開催日：平成27年6月20日(土) 14:00～15:30 参加人数：20人

第4回 大人も楽しめる!?夏休みこども美術館2015

講師：土橋 佳那子(嘱託学芸員) 開催日：平成27年7月25日(土) 14:00～15:30 参加人数：12人

第5回 続・美術とフェミニズム

講師：正路 佐知子(主任学芸員) 開催日：平成27年8月29日(土) 14:00～15:30 参加人数：12人

第6回 浮世(絵)はたのし

講師：中山 喜一郎(副館長) 開催日：平成27年9月19日(土) 14:00～15:30 参加人数：56人

第7回 九州派とはなにか?その全貌にせまる

講師：山口 洋三(学芸係長) 開催日：平成27年10月31日(土) 14:00～15:30 参加人数：83人

第8回 春画展示を回顧する

講師：吉田 暁子(主任学芸員) 開催日：平成27年11月21日(土) 14:00～15:30 参加人数：32人

第9回 茶人の愉しみ・茶道具と包裂

講師：岩永 悦子(学芸課長) 開催日：平成27年12月5日(土) 14:00～15:30 参加人数：39人

第10回 仙厓にまつわる2つの肖像

講師：宮田 太樹(学芸員) 開催日：平成28年1月30日(土) 14:00～15:30 参加人数：15人

第11回 「秘密展」を楽しむ～これであなたもミュージアム探偵?

講師：鬼本 佳代子(主任学芸主事) 開催日：平成28年2月27日(土) 14:00～15:30 参加人数：15人

第12回 コレクション展入門:「美Zoo術館」展で動物をみる!

講師：神保 明香(学芸員) 開催日：平成28年3月5日(土) 14:00～15:30 参加人数：18人

参加人数 計363人

福岡ミュージアムウィーク2015

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知っていただくために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、福岡市内の13館が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」、「知識の場」、「発見の場」である博物館・美術館をアピールする事業。

連携館：福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡県立美術館・福岡市埋蔵文化財センター・「博多町屋」ふるさと館・はかた伝統工芸館・王貞治ベースボールミュージアム・九州大学総合研究博物館・九州産業大学美術館・西南学院大学博物館・アートギャラリー三菱地所アルティアム・能古博物館

期間：平成27年5月16日(土)～5月24日(日)

■常設展観覧料無料

観覧者数：3,874人(期間中の常設展示室入場者数)

■スタンプラリー

参加館13館のうち2館分のスタンプを集めて応募された方の中から抽選で特別展観覧券などの賞品を贈呈した。

応募数：1,333人(13館の合計)

■つきなみ講座

「アンコール時代の遺跡と美術」(p.18参照)

■講演会「大仏師 松本明慶が語る仏像彫刻」

講師：松本明慶(大仏師)

日時：5月24日(日)14:00～15:30

会場：1階講堂

聴講者数：162人



講演会「大仏師 松本明慶が語る仏像彫刻」

■ミニミニワークショップ

講師：オーギカナエ(アーティスト)5月19日のみ

日時：5月19日(火)～5月22日(金)10:30～14:30

場所：2階 キッズコーナー 森のたね

対象：未就学児童

参加者数：子ども56人 大人56人

■建築ツアー

日時：5月16日(土)、17日(日)10:30～12:00

集合場所：1階ロビー

参加者数：68人

■ハイライトツアー

日時：5月16日(土)～5月24日(日)(5月18日(月)を除く)
11:00～、14:00～

集合場所：1階ロビー

参加人数：146人

夏休みこども美術館2015

子どもたちに当館の所蔵品に親しみ、美術に接してもらうため、展示やワークショップ、ギャラリートーク等を組み合わせた複合的な教育普及プログラムとして本事業を実施している。平成27年度は「きるものをみる」をテーマとし、衣食住のうち「衣」という日常生活に深く関わることを、鑑賞を通して見直すことを目的とする。

会 期：平成27年6月16日(火)～8月23日(日)
印刷物：ワークシート(A3)

■こどもギャラリー

来館者に作品鑑賞を通して、着るものには様々な形や用途があることを知ってもらう機会を提供することを目的とする。「なにきてる?」「なにきせる?」の2つに章分けをし、32点の所蔵品を展示。会場には姿見を設置し、来館者自身がどんなものを身につけているか見ることができるようにした。またワークシートも設置。

日 時：6月16日(火)～8月23日(日)
場 所：日本画工芸室

■ギャラリートัวร์forキッズ!夏休み特別版

当館のギャラリーガイドボランティアと共に「こどもギャラリー」を鑑賞するツアー。「おでかけBOX」という様々な場所が書かれたクジを入れた箱を用意し、参加者はそのクジを引き、書かれてある場所に出かける際に身につけていく物を作品のなかから探します。探し出した作品を使って対話型鑑賞を行った。

日 時：7月18日(土)～8月23日(日) / 14:00～(30分程度)
場 所：日本画工芸室(集合は1階ロビー)
参加費：中学生以下無料。高校生以上は常設展示観覧料が必要。
参加者数：76人



ギャラリートัวร์forキッズ!夏休み特別版

■ワークショップ：美術館の制服をつくろう!

参加者に、美術館ではどのような人がどのような仕事をしているか、「きるもの」を通して知ってもらうことを目的とする。美術館で働く人にインタビューをし、身近にある素材を使ってその制服を制作した。

日 時：7月22日(水) 10:00～14:00
場 所：教養講座室
対 象：小学3年生～6年生
参加費：なし
参加者数：18人 事前申込制

■ワークショップ：かぶるものをつくろう!

一口に「かぶるもの」といっても、様々な形や用途があることを考える機会を提供し、さらに考えたことを形に表すことを目的とする。作品を鑑賞した後、身近な素材を使って独自の「かぶるもの」を作成した。

日 時：8月11日(火) 10:00～12:00
場 所：教養講座室
対 象：小学生・保護者
参加費：小学生は無料・展示室に行くため、保護者は常設展観覧料200円
参加者数：20人 事前申込制

■夏休みこどもとしゃかん

日 時：6月16日(火)～8月23日(日)
場 所：読書室
内 容：p.23を参照

企画担当：土橋佳那子

ファミリーDAY

若い世代のファミリー向け、開館記念日の周知と、家族で体験する美術・美術館の楽しさ、面白さを知ってもらうために、開館記念日を含む3日間をファミリーDAYとし、ワークショップ等の教育プログラムを館内各所で実施した。平成25年度から継続して開催している事業。当館ボランティアおよび博物館実習生もスタッフとして活動するとともに、本年度は、福岡教育大学学生のべ31人がボランティアとして活動を行った。

期 間：平成27年10月31日(土)、11月1日(日)、11月3日(火・祝) 10:00～15:00
のべ参加人数：821人

■ミニミニワークショップ

タネ型の箱の中から3つの素材をひいてもらい、それを組み合わせて、参加者が思い思いにキッズコーナー「森のたね」にちなんだ森の仲間を作った。造形そのものを楽しんでもらうと同時に未就学児童の初めての造形活動を支援するプログラム。

日 時：10月31日(土)、11月1日(日)、11月3日(火・祝)
講 師：オーギカナエ(アーティスト・10月31日のみ)
場 所：キッズコーナー「森のたね」
対 象：未就学児童とその保護者 参加者数：278人

■ぬってみよう！どんな色？

展示作品のぬりえを準備し、色をぬってもらった。その後、展示室で実際の作品とぬりえを見比べることで、鑑賞のきっかけとしてもらうことをねらいとした活動。小さな子どもから大人までが参加した。

日 時：10月31日(土)、11月1日(日)、11月3日(火・祝)
場 所：1階ロビー
対 象：子どもから大人まで 参加者数：317人

■キミは名探偵!美術館ナゾをとときあかせ

美術館の館内および展示作品をテーマにした5つの問題を記載したワークシートを制作した。参加者はワークシートを持って5つのポイントを回り、回答を記載する。問いに答えながら、自然と美術館に親しみ、また作品鑑賞のきっかけづくりを目的とした活動。

日 時：10月31日(土)、11月1日(日)、11月3日(火・祝)
場 所：館内各所
対 象：小学生以上 参加者数：128人

■色であそぼう!

参加者が色水をつくり、じょうろやドレッシングボトル、霧吹きなどを使って絵を描くという活動。普段はできないダイナミックな絵を描け、かつ思わぬ色の重なりや形ができることを楽しんでもらった。

日 時：10月31日(土) 10:00～12:00
場 所：1階教養講座室
対 象：未就学児童以上 参加者数：17人

■絵からとびだす物語

ギャラリーガイドボランティアの日曜日グループが考案し、実施したワークショップ。ボランティアとともに作品を鑑賞し、作品についての物語を作り、寸劇仕立てで発表をした。

日 時：11月1日(日) 10:30、13:30(各1時間30分程度)
場 所：常設展示室
対 象：小学生以上 参加者数：18人

■らでんキラキラアート

常設展「七色の煌めきー螺鈿」を鑑賞し、螺鈿と同じ構造色を持つCD片を使って作品制作を行った。アーティストによるワークショップ。

日 時：11月1日(日) 13:00～15:00
講 師：佐土嶋洋佳(アーティスト)
場 所：1階教養講座室
対 象：小学生以上 参加者数：24人
協 力：海の中道海洋生態科学館 マリンワールド



■かけじくをつくろう!

1階常設展示室で掛け軸作品を鑑賞後、常設作品の縮小コピーを掛け軸にした。掛け軸の決まり事を踏まえながら、絵をよりよく見せるために工夫をしてオリジナルの掛け軸を制作していた。

日 時：11月3日(火・祝) 10:00、13:00(各2時間程度)
場 所：1階ロビー
対 象：小学生以上 参加者数：29人

企画担当：鬼本佳代子

びじゅーつかん 美Zoo術館 アート×アニマル

平成25年に開催した「美術館でZoo」に引き続き、動物をテーマにした展覧会を開催。今回は九州大学総合研究博物館の協力のもと、動物(イタチ・テン・サル・キツネ)の剥製を作品と一緒に展示した。作品中の動物と、剥製を展示室で実際に見比べて鑑賞／観察することで、来場者に新たな鑑賞の視点を提示することができた。

会 期：平成28年2月2日(火)～4月10日(日)
印 刷 物：チラシ(A4)



■関連事業

春休み！アニマルアートの2日間

春休みの2日間に動物とアートをテーマにした3つのイベントを開催した。

期 間：3月29日(火)、30日(水) 10:30～14:30
延べ参加人数：379人

・ミニミニワークショップ「どうぶつのなかまをつくろう」

さまざまな素材が入った大きなタネ型の箱から3つの素材をひき、それを使って動物のなかまを制作した。これまでミュージアムウィーク期間中に開催している活動を、本展のテーマに合わせて開催したもの。

時 間：10:30～14:30
対 象：未就学児童とその保護者
場 所：キッズコーナー 森のたね
参加者数：163人

・ぬってみよう！どうぶつの色

「美Zoo術館」展に展示中の作品をぬりえにし、色をぬってもらった。その後、展示室で実際の作品と見比べることで鑑賞のきっかけとしてもらう活動。こどもからおとなまで幅広い年齢の方が参加した。

時 間：10:30～14:30
対 象：だれでも参加可
場 所：1階ロビー
参加者数：188人

・自分のしっぽをつくろう！

はじめに同展覧会を鑑賞し、いろいろな動物の尾を観察し、またその役割について知ってもらった。その後、さまざまな素材を使って各自がオリジナルのしっぽを制作した。

時 間：10:30～12:00
対 象：小学生以上
場 所：教養講座室
参加者数：28人

企画担当：神保明香

第3回いきヨウヨウ講座「きもちの樹をつくる」

平成25年より開催している60歳以上対象の講座。美術体験を通して、これまでの経験を再確認し、明日への創造力及び活力としてもらうことが目的。第3回目となる今回は、樹をテーマにした。当館所蔵作品デヴィッド・ナッシュ《内側・外側》についてギャラリートークをし、鑑賞の後、舞鶴公園を散策して、樹木に触り、においを嗅いで自らの五感を刺激し、作家のコンセプトである樹木との一体感、人と環境の融和を自然の中で実際に感じてもらった。気に入った木片があった人は持ち帰り、又は用意した木枝を選び、ワークショップでは木片を削る、たたく、彫る等して自分の気持ちを樹に重ねて表現した。デヴィット・ナッシュからのメッセージも紹介した。

日 時：平成28年3月12日(土)9:30～12:30
参加者数：18人

企画担当：ギャレット三宅万里子



博物館実習

博物館法による学芸員資格取得のための実習を大学からの依頼により毎年実施している。平成27年度は下記大学の3人を受け入れた。実習期間は平成27年5月12日から11月30日のうちの10日間。

- 九州産業大学 芸術学部 デザイン学科 1人
- 筑紫女学園大学 文学部 日本語・日本文学科 1人
- 福岡大学 人文学部 歴史学科 1人

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館も受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行っている。

平成27年度 受け入れなし

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、資料を通しての普及啓蒙活動を行った。

1. 常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を集めた。

2. 特別展関連図書特集

- ・平成27年4月28日(火)～6月14日(日)「アンコール・ワットへのみち 神々の彫像」関連
- ・平成27年8月8日(土)～9月20日(日)「肉筆浮世絵の世界」関連
- ・平成27年10月6日(火)～11月23日(月・祝)「藤田美術館の至宝 国宝曜変天目茶碗と日本の美」関連
- ・平成27年12月22日(火)～平成28年2月21日(日)「マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展」関連

3. 読書室企画図書特集

・本と出会えるミュージアム2015
会期＝平成27年4月21日(火)～5月24日(日)
会場＝読書室、キッズコーナー
内容＝4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、美術館・アジア美術館・博物館の3館において、ミュージアムにおける子どもの読書活動と学びの推進に資する事業を、共同で行った。
読書室では「本で知るアートの世界」と題して、美術に初めてふれるという子どもや、最近美術に興味を持ってきたという初心者向けのアート本を16冊特集した。
キッズコーナーでは「絵本になった作品たち」と題して、展示室に親しんでもらうことを考え、所蔵作品を掲載した絵本や所蔵作家が作成した絵本、また内外の美術作品が掲載された絵本など10冊を集めた。

・夏休みこどもとしゃかん2015
会期＝平成27年6月16日(火)～8月23日(日)
会場＝読書室
内容＝夏休みこども美術館2015「さるものをみる」に関連して、美術作品の鑑賞のヒントが書かれているものや展示作品に関連するものなど、美術に関心を持ったり理解を深めてもらえたりするような児童向けの絵本・美術書など14冊を集めた。

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。平成27年4月現在で、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが活動している。4月から新規ボランティアが活動を開始した。

平成27年度の登録人数

計	ギャラリーガイド	新聞情報	図書整理	美術家情報整理
141	67	40	21	13

■総会

日 時：平成27年5月11日(月)
場 所：1階講堂

■館外研修

日 時：平成27年6月13日(土)
訪問場所：田川市石炭歴史博物館／田川市美術館／嘉麻市織田廣喜美術館
参加人数：40人

■ボランティア交流会

日 時：平成27年12月4日(金)
参加者：42人



館外研修

ギャラリーガイドボランティア

[活動内容]

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、自ら決めたテーマに沿って常設展示室の展示作品から3点を選び、参加者との対話を重視しながら鑑賞活動を行う。参加は無料。

※5月16日～24日「福岡ミュージアムウィーク2015」の期間は代わりにハイライトツアーを、7月18日～8月23日の「夏休みこども美術館2015」会期中の14時は「ギャラリーツアーforキッズ! 夏休み特別版」のため休止。また10月31日～11月1日、3日は「ファミリーDAY」のため休止。

参加延べ人数：670人

■ギャラリーツアーforキッズ!

平成20年度より始まったこどもを対象とした常設展示ギャラリーツアー。毎月第2土曜日、第2日曜日の午後2時から実施。ボランティアが自ら決めたテーマに沿って3点を選び参加者に紹介する。基本的な構成はギャラリーツアーと同様。

※6月13日(土)、14日(日)は展示替え・設備点検による閉室のため、また「夏休みこども美術館」期間中(7月18日～8月23日)は「ギャラリーツアーforキッズ!夏休み特別版」のため休止。

参加延べ人数：14人

■団体向けツアー

上記ギャラリーツアー以外に、申込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は以下の通り。なお、市内学校団体向けのツアーは「こどもアートアドベンチャー」の項目(p.17)を参照のこと。

平成27年

5月21日(木)	九州産業大学付属九州高等学校 1年生	生徒83人	引率3人	
5月27日(水)	福岡県立玄海高等学校 2年生	生徒45人	引率2人	
6月19日(金)	行橋市立菟島小学校 4-6年生	児童22人	引率4人	
6月27日(土)	古賀市アートバス 1-6年生	児童17人	引率21人	
7月4日(土)	NPO法人社会教育団体ベルポ会	児童8人	引率4人	一般11人
7月30日(木)	夏休みこどもアートバスツアー 4-6年生	児童20人	引率8人	
8月4日(火)	チムニーズENGLISHスクール 1-5年生	児童32人	引率6人	
8月6日(木)	朝倉市立十文字中学校 1-3年生	生徒156人	引率17人	
9月5日(土)	福岡女子大学生涯学習カレッジ	一般23人	引率3人	
9月17日(木)	長崎県島原市立大三東小学校 6年生	児童43人	引率3人	
10月10日(土)	宮崎県耳川広域森林組合椎葉支所	一般31人		
10月20日(火)	井尻保育園	園児51人	引率5人	
11月12日(木)	大野城市立平野小学校 5年生	児童94人	引率4人	
11月17日(火)	小郡市立東野小学校 4年生	児童55人	引率4人	
11月23日(月・祝)	筑後市立筑後北中学校美術部 1-3年生	生徒25人	引率1人	
11月25日(水)	美術学校の児童生徒(韓国)	児童・生徒47人	一般13人	
11月26日(木)	筑陽学園中学校 2年生	生徒79人	引率3人	
12月25日(金)	福津市立津屋崎中学校美術部 1, 3年生	生徒7人	引率2人	

平成28年

1月13日(水)	古賀市立花見小学校 6年生	児童86人	引率5人	
1月26日(火)	宗像市立吉武小学校 5年生	児童16人	引率2人	
1月28日(木)	資生堂ジャパン株式会社	一般38人		
1月31日(日)	表千家大分県青年支部	児童3人	一般14人	
2月11日(木・祝)	大分県日田市夜明公民館	児童・生徒39人	引率1人	
2月21日(日)	古賀市アートバス	一般25人		
3月6日(日)	中央区青少年育成会	児童・生徒27人	一般18人	

計 団体数25件 総計1,226人

新聞ボランティア

[活動内容]

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。

- 月曜日：毎日新聞
- 火曜日：読売新聞
- 水曜日：西日本新聞
- 木曜日：朝日新聞
- 土曜日：日経新聞

月に1回共同作業日(原則毎月10日前後)を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。訃報記事の整理作業は、月末に各曜日持ち回りで行う。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度も月1回ペースで作成した(第151号～第162号)。

平成27年

- 4月 8日(水) 共同作業 2月分記事チェック、ファイル(参加6名)
- 4月22日(水) 訃報記事整理(参加7名)
- 4月28日(火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第151号作成
- 5月14日(木) 共同作業 記事チェック、ファイル(参加7名)
- 5月27日(水) 水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第152号作成
- 5月28日(木) 訃報記事整理(参加4名)
- 6月13日(土) 共同作業 記事チェック、ファイル(参加4名)
- 6月25日(木) 木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第153号作成
- 6月27日(土) 訃報記事整理(参加3名)
- 7月13日(月) 共同作業 5月分記事チェック、ファイル(参加6名)
- 7月25日(土) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第154号作成
- 8月11日(火) 共同作業 6月分記事チェック、ファイル(参加4名)
- 8月24日(月) 月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第155号作成
- 9月 1日(火) 訃報記事整理(参加5名)
- 9月 9日(水) 共同作業 7月分記事ファイル、チェック(参加6名)
- 9月29日(火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第156号作成
- 9月30日(水) 訃報記事整理(参加6名)
- 10月 8日(木) 共同作業 8月分記事ファイル、チェック(参加6名)
- 10月28日(水) 水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第157号作成
- 10月29日(木) 訃報記事整理(参加4名)
- 11月 7日(土) 共同作業 9月分記事ファイル、チェック(参加4名)
- 11月26日(木) 木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第158号作成
- 11月28日(土) 訃報記事整理(参加3名)
- 12月 7日(月) 共同作業 10月分記事ファイル、チェック(参加5名)
- 12月19日(土) 土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第159号作成
- 12月21日(月) 訃報記事整理(参加7名)

平成28年

- 1月25日(月) 月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第160号作成
- 1月26日(火) 訃報記事整理(参加4名)
- 1月27日(水) 合同研修会・懇親会(参加18名)
- 2月10日(水) 共同作業 11月・12月分記事チェック、ファイル(参加7名)
- 2月24日(水) 訃報記事整理(参加3名)
- 3月 1日(火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第161号作成
- 3月10日(木) 共同作業 1月分記事ファイル、チェック(参加8名)
- 3月30日(水) 木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第162号作成
- 3月31日(木) 訃報記事整理(参加3名)

図書整理ボランティア

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

[活動内容]

■目録カード整理

目録カードに標目を記載する。
分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

■パンフレット資料整理

作家に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

■広報誌整理

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理

雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

■書架整理

書架の本を順番通りに並べる。
書架整理に必要な保存袋、箱を作成する。

■パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。
パンフレット等の資料を所蔵している作家の情報をパソコンに入力する。

■蔵書点検

本が書架の定位置にあるか原簿と照合しながら点検する。

美術家情報整理ボランティア

[活動内容]

- ①美術家による活動についてのDM(ダイレクトメール)を内容別に分類し、作家名、展覧会(イベント)名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化する。2016年8月1日現在で18568件のデータを入力済み。
- ②データ入力の済んだDMを整理し、保管する。収納用封筒のサイズ交換を行い、効率的な収納とスムーズな閲覧(職員による館内使用)に努めている。

[活動日]

月～金曜日。各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。
月に1度合同作業日を設け、蓄積されたDM(ダイレクトメール)を効率的に収納するため、DM保存用の封筒のサイズ交換作業を行う。
年に1度、合同作業日に全体ミーティングを行い、活動内容の確認や意見交換を行う。

合同作業日

平成27年
4月16日(木)[ミーティング]、5月15日(金)、6月15日(月)、7月14日(火)、9月15日(火)、10月14日(水)、11月11日(水)
平成28年
1月14日(木)、2月19日(金)、3月14日(月)

出版物

展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
アンコール・ワットへのみち	A4変形	191	福岡市美術館(後藤 恒)、島津法樹編集・株式会社TVQ九州放送発行
肉筆浮世絵の世界	A4変形	208	福岡市美術館(中山喜一郎、吉田暁子)、花田伸一編集・西日本新聞社、テレビ西日本発行
肉筆浮世絵の世界 春画編	A4変形	136	
藤田美術館の至宝 国宝 曜変天目茶碗と日本の美	25.7×23.0cm	235	公益財団法人藤田美術館、サントリー美術館、福岡市美術館、朝日新聞社企画事業本部大阪企画事業部編集・朝日新聞社発行
第50回福岡市美術展	A4変形	102	福岡市美術展運営委員会編集・発行

常設展リーフレット

■近現代美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
297	新収蔵品展(平成26年度)	B4	2	小作品室	平成27年 6月16日

■古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
224	新収蔵品展	B4	2	古美術企画展示室	平成27年 6月16日
田中丸コレクション 解説第4号	九州古陶の美「銘」	B4	2	古美術企画展示室	平成27年 6月16日
田中丸コレクション 解説第5号	九州古陶の美「上野 八代 小代」	B4	2	古美術企画展示室	平成27年 9月 8日
225	仙厓展	B4	2	古美術企画展示室	平成27年12月 1日
226	耳庵のつぶやき	A4	4	松永記念館室	平成28年 2月 2日

■夏休み子ども美術館2015 ワークシート

名称	規格	頁数	発行日
夏休み子ども美術館 きるものをみる ワークシート	A4	4	平成27年 6月16日

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成26年度 福岡市美術館活動の記録	A4	50	平成28年 3月15日

■研究紀要

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館 研究紀要 第4号	A4	31	平成28年 3月16日

福岡市美術館 季刊誌 エスプラナード

No.	内容	規格	頁数	発行日
179	<p>スタンダード編 <特集1 特別展によせて>「アンコール・ワットへのみち 神々の彫像」展 学芸員 後藤 恒/<特集2 美術館、リニューアル、します>リニューアルがキター！次から次へと襲いかかる問題課題、艱難辛苦を乗り越え、美術館のリニューアルが本格的に動き出しました。 運営部長 中山喜一郎/<ボランティアのこと>ボランティアになって…ちょっといい話 学芸員 鬼本佳代子/所蔵品紹介 スタンダード 《ラヴ・トレイン》サラ・ルーカス 1998年 学芸員 正路佐知子/4月～6月の展覧会(前半)/つきなみ講座</p> <p>マニアック編 特集1:アンコール・ワットへの無知 インドの祇園精舎とアンコール・ワットに残る日本人の落書き 館長 錦織亮介/特集2:徹底的に美術館リニューアルを知る方法 美術館を破壊する衝動に駆られる男の独白 文:名前に「き」がつくオトコ/お客様、それは作品…ではありません 作品に間違えられる、まじらわしいものたち 文:oni/学芸員4コマ劇場 vol.2 /インドとアメリカからの絵はがき インドより(岩永悦子) アメリカより(吉田暁子)/所蔵品紹介 Deep 《ラヴ・トレイン》サラ・ルーカス 1998年 学芸員 正路佐知子/4月～6月の展覧会(後半)/編集後記</p>	A2四つ折り	16	平成27年 4月 1日
180	<p>編集前記(正路佐知子)/肉筆浮世絵の世界 美人画、風俗画、そして春画/彫刻/人形[山口洋三]/夏休みこども美術館2015 ワークショップ「美術館の制服をつくろう!」リハーサル風景/ここのあるものについて考え、ここにはないものに思いを馳せる—近現代美術室の新しい展示について [正路佐知子]/STAFF ROOM(READING RECOMMENDED Andreas Eschbach The Carpet Makers [吉田暁子]/つぶやき/4コマ劇場)/わたくし的、所蔵品紹介 銅造菩薩半跏思惟像 [後藤 恒]/展覧会スケジュール 7月～9月</p>	A5	16	平成27年 7月 1日
181	<p>編集前期(神保明香)/常設企画展 九州派展 九州派エピソード「穴掘り事件」[教育普及係 神保明香]/国宝 曜変天目茶碗の「奇蹟の青」21世紀の光をあびて [学芸課長 岩永悦子]/学芸員4コマ劇場 vol.3/スクールツアー レポート あたご美術館 [教育普及係 土橋佳那子]/「木曜会」の秘密 [教育普及係 鬼本佳代子]/スタッフ・ルーム おすすめのこの一冊 『日本の素朴絵』[司書 中務美紀]/つぶやき/アートあるあるニュース ゴト—美術館 開館!/わたくし的、所蔵品紹介 喜多川歌麿《絵本小町引》 [近現代美術係 吉田暁子]/展覧会スケジュール10月～12月</p>	A5	16	平成27年10月 1日
182	<p>マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 モネのプライベート・コレクション [近現代美術係 渡抜由季]/第50回福岡市美術展 歩んでいたら50回 [渡抜由季]/PICK UP! 進む!常設展 美Zoo美術館 アート×アニマル [教育普及係 神保明香]/冬のおとなミュージアム「秘密—かくす・のぞく・あばく」関連プログラム/鉄の美術 [近現代美術係 吉田暁子]/仙厓展 [古美術係 宮田太樹]/STAFF ROOM 新入学芸員宮田さんいらっしゃ〜いおすすめの一冊 『私が日本人になった理由』 [教育普及係 ギャレット三宅万里子]/つぶやき/4コマ劇場/わたくし的、所蔵品紹介 山内重太郎《サビツイタ裸女》 [近現代美術係 山口洋三]/展覧会スケジュール1月～3月/編集後記(土橋佳那子)</p>	A5	16	平成28年 1月 1日

福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館連携企画

冬のおとなミュージアム「秘密-かくす・のぞく・あばく」

夏の子ども向け企画に対し、冬に大人の人々に、常設展示室を楽しんでもらうことを目的とし、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の連携企画として経済観光文化局文化振興課主導で開催された展覧会およびその関連事業。2回目となる本年は「秘密」を共通テーマとし、さらに当館は「かくす」をテーマとして展覧会を開催した。また、北九州市とも連携し、スタンプラリーも行った。

■常設展示「秘密-かくす・のぞく・あばく」

会 期：平成28年1月19日(火)～2月28日(日)

内 容：福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の3館連携展。本展では、4つの章にわけ、作家の創意、科学分析、作品読み解き、未だ解かれていない謎という「秘密」を紹介する展示を行った。17点展示。

展示担当：鬼本佳代子

■関連事業

『ミュージアム探偵の事件簿』-消えた少女の「秘密」-

内 容：3館を巡ってナゾを解きながら鑑賞を楽しむワークシート企画。

日 時：平成27年12月8日(火)～平成28年2月14日(日)

※当館は平成28年1月19日(火)～2月14日(日)

『ひみつ』のリレートーク

博物館、美術館、アジア美術館の学芸員が2人一組でギャラリートークを行った。当館での開催は下記の通り。

日 時：平成28年2月6日(土) 14:30～15:30

参加者数：15人

『ひみつ』の3館めぐり

「秘密」展の広報サポーターを一般公募し、3館をバスでめぐり、各会場で担当学芸員がギャラリートークを行った。また、特典として、参加者にはバックヤードツアーも行い、SNS等での発信を促した。

日 時：平成28年1月23日(土) 13:00～18:00

参加者数：20人



協力事業

大学の授業等への協力

当館学芸員によるレクチャーを行った。

日 時：平成27年4月29日(水・祝)
参加者：九州大学芸術工学部「芸術文化環境論」 学生90人 引率4人

日 時：平成27年6月20日(土)
参加者：福岡教育大学 学生39人 引率6人

日 時：平成27年7月12日(日)
参加者：九州産業大学 学生15人 引率1人

日 時：平成27年7月18日(土)
参加者：九州大学芸術工学部 学生40人 引率1人

「タンポポ調査・西日本2015」への協力

当館周辺に咲くカンサイタンポポは黒田官兵衛が持ち込んだ可能性があるということで、説明会に協力し、会場提供を行った。

日 時：平成27年4月12日(日)

「夏休み子どもアートバスツアー」への協力

春日市文化ふれあいセンターの企画に協力し、ワークショップを実施した。

日 時：平成27年7月30日(木)
参加者：20名

「ママと子どものアート時間」への協力

任意団体が実施している企画に協力し、未就学児童とその保護者のためにワークショップを実施した。

日 時：平成27年8月2日(日)
参加者：10名

「天神ワーク体験」への協力

民間が実施する職場体験活動に協力し、参加者に解説文作り等を行ってもらった。

日 時：平成27年8月18日(火)
参加者：小学生5人

「大濠アートプロジェクト」に共催

九州大学の片山雅史教授が企画した同プロジェクトに共催し、講堂・教養講座室等の会場を提供した。

日 時：平成27年11月15日(日)「祈りと表現」(講演会・ワークショップ)
12月 5日(土)「反芸術／漆黒 九州から」(対談)
12月12日(土)「前衛と日本美」(講演会・ワークショップ)
12月19日(土)「伝統と個性」(講演会)



大濠アートプロジェクトチラシ

九州大学大学院小津ゼミナール研究発表への協力

九州大学経済学部小津ゼミナールに協力し、文化施設についての研究発表を行うということで、会場提供をし、職員が参加した。

日 時：平成28年1月26日(火)

「アートの体験活動の普及を支える実践研究を考える—美術館・学校・地域の美術教育の研究事例から」に共催

福岡教育大学COC事業に共催し、美術教育フォーラムを開催。

日 時：平成28年1月31日(日)

紀要の発行

平成27年度、福岡市美術館において「福岡市美術館 研究紀要 第4号」を発行した。
内容は以下の通りである。

題目	執筆者
新発見：喜多川歌麿筆《花魁と禿囚》の不思議	石田 泰弘
福岡市美術館のボランティア活動についての一試論	鬼本 佳代子
【報告文】大黒愛子《無題》調査・保存修復処置報告 —描画面と余白の境界線、残された鉛筆の跡—	渡抜 由季
【資料紹介】満州の甲斐巳八郎 雑誌『協和』掲載挿絵・執筆記事①	中山 喜一郎
『福岡市美術館叢書6 九州派大全』補遺	山口 洋三

館外調査

福岡市美術館では、諸事業の充実を図りその効果を高めるため、たゆまぬ調査研究活動に努めている。以下は、平成27年度に館外においておこなった主な調査研究記録である。

日時	目的	訪問先	日数	担当	関連する事業
平成27年 8月18日～8月24日	ニューヨークにおける美術館・博物館の教育活動調査	アメリカ合衆国;アメリカン・フォーク・アート美術館、ブルックリン美術館、クーパー＝ヒューイト国立デザイン博物館、ルビン美術館、ホイットニー美術館、バンク・ストリート大学、アメリカ自然史博物館、テナメント博物館	5	鬼本佳代子	ふくおか博物館人材育成事業(文化庁平成27年度地域の核となる美術館・博物館支援事業)
平成27年 11月14日～11月22日	更紗調査	イギリス;V&A美術館、大英図書館、ブリクストン・マーケット(ロンドン)、国際奴隷制度博物館、海洋博物館マリタイムアーカイヴ&ライブラリー(リバプール)、マンチェスター科学産業博物館、マンチェスター市立美術館衣裳ギャラリー、ペーズリー美術館・博物館、ケルビングローブ美術館・博物館(グラスゴー)	9	岩永悦子	メトロポリタン東洋美術研究センター 東洋美術研究振興基金 研究助成
平成28年 1月23日～1月29日	更紗調査	ポルトガル;ジェロニモス修道院、リスボン国立古美術館、ポルトガル装飾美術館、オリエント博物館、タイル博物館、サン・ロケ教会、グルベンキアン美術館(リスボン)	7	岩永悦子	メトロポリタン東洋美術研究センター 東洋美術研究振興基金 研究助成
平成28年 1月23日～2月1日	アフリカンプリント調査	オランダ;アムステルダム市立美術館、テキスタイル博物館、フリスコ社、ドイツ;ハンブルク民族博物館、ダイヒトーアハレン	10	正路佐知子	公益財団法人高梨学術奨励基金 平成27年度若手研究助成

美術資料

平成27年度、福岡市美術館は近現代美術資料を49点、古美術資料を55点収集した。

近現代美術

所蔵品番号順であり、研究資料は末尾に記載

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	法量 (cm)	収集法	備品受入番号
油彩等	3-A-414	ジグマール・ボルケ	Nessi Has Company II	2003年	塗料、透明レジン・布	300.0×225.2	購入	42711485
写真	3-F-147	アンドレアス・グルスキー	株主総会	2001年	タイプCプリント	158.5×260.5 159.0×260.7	購入	42711486
彫刻	2-G-46	金子 潤	無題	2014年	施釉陶	77.5×76.0×25.5	購入	42709255
彫刻	1-G-84	富永 朝堂	粧	1937年	木	193×50.0×37.0	寄贈	42711500
版画	1-E-997	渡辺 千尋	空の森	1987年	エングレーヴィング・紙	23.8×36.0	寄贈	42711533
版画	1-E-998	渡辺 千尋	風の遺跡	1979年	エングレーヴィング・紙	29.4×36.1	寄贈	42711516
版画	1-E-999	渡辺 千尋	極私譚－風の棲処	1980年	エングレーヴィング・紙	29.4×37.3	寄贈	42711522
版画	1-E-1000	渡辺 千尋	象の風景－Mダム地区	1979年	エングレーヴィング、 リフトグラウンドエッチング?、 空押し・紙	20.6×29.3	寄贈	42711517
版画	1-E-1001	渡辺 千尋	線の繁み	1993年	エングレーヴィング・紙	22.4×29.5	寄贈	42711539
版画	1-E-1002	渡辺 千尋	懺悔の夢景	1978年	エングレーヴィング、 雁皮刷り・紙	23.7×33.3	寄贈	42711511
版画	1-E-1003	渡辺 千尋	線の記憶	1993年	エングレーヴィング・紙	15.8×29.5	寄贈	42711540
版画	1-E-1004	渡辺 千尋	象の風景－N村地区	1979年	エングレーヴィング、 空押し・紙	14.1×21.5	寄贈	42711518
版画	1-E-1005	渡辺 千尋	劇場	1986年	エングレーヴィング (カラー)・紙	18.0×24.5	寄贈	42711531
版画	1-E-1006	渡辺 千尋	月光	1996年	エングレーヴィング、 雁皮刷り・紙	29.4×20.4	寄贈	42711546
版画	1-E-1007	渡辺 千尋	崖景	1996年	エングレーヴィング・紙	25.7×14.7	寄贈	42711544
版画	1-E-1008	渡辺 千尋	夢底器	1978年	エングレーヴィング・紙	29.5×21.3	寄贈	42711512
版画	1-E-1009	渡辺 千尋	背徳の垂心	1986年	エングレーヴィング・紙	22.3×25.2	寄贈	42711532
版画	1-E-1010	渡辺 千尋	卵夢	1978年	エングレーヴィング、 雁皮刷り・紙	27.5×20.3	寄贈	42711513
版画	1-E-1011	渡辺 千尋	机上の惨事(遠近法試論)	1979年	エングレーヴィング・紙	30.4×21.5	寄贈	42711519
版画	1-E-1012	渡辺 千尋	象の風景－S町	1988年	エングレーヴィング・紙	18.2×12.2	寄贈	42711536
版画	1-E-1013	渡辺 千尋	峡谷の肖像	1979年	エングレーヴィング・紙	19.7×14.5	寄贈	42711520
版画	1-E-1014	渡辺 千尋	笑う男	1978年	エングレーヴィング・紙	15.3×11.7	寄贈	42711514
版画	1-E-1015	渡辺 千尋	象の風景－境界	1988年	エングレーヴィング、 空押し・紙	14.3×11.0	寄贈	42711537
版画	1-E-1016	渡辺 千尋	空の城	1980年	エッチング、 エングレーヴィング・紙	10.0×6.6	寄贈	42711523
版画	1-E-1017	渡辺 千尋	日曜日(アトリエ)	1987年	エッチング・紙	8.0×5.0	寄贈	42711534
版画	1-E-1018	渡辺 千尋	月曜日(アトリエ)	1987年	エッチング・紙	8.2×4.3	寄贈	42711535
版画	1-E-1019	渡辺 千尋	石	1985年	エングレーヴィング・紙	11.4×6.8	寄贈	42711530
版画	1-E-1020	渡辺 千尋	六月の花	1983年	エングレーヴィング・紙	10.1×6.6	寄贈	42711524
版画	1-E-1021	渡辺 千尋	花模様(アトリエ)	1978年	エングレーヴィング・紙	5.1×3.6	寄贈	42711515
版画	1-E-1022	渡辺 千尋	小さな花	1983年	エングレーヴィング・紙	5.5×5.2	寄贈	42711525
版画	1-E-1023	渡辺 千尋	乾いたケシの花	1983年	エッチング、 エングレーヴィング・紙	12.4×7.8	寄贈	42711526
版画	1-E-1024	渡辺 千尋	闇の花	1983年	エッチング、 エングレーヴィング・紙	9.5×7.6	寄贈	42711527
版画	1-E-1025	渡辺 千尋	北斎が聞こえる	1983年	エングレーヴィング・紙	12.1×8.8	寄贈	42711528
版画	1-E-1026	渡辺 千尋	ボッティチェリーの春	1983年	エングレーヴィング・紙	10.1×5.8	寄贈	42711529

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	法量(cm)	収集法	備品受入番号
版画	1-E-1027	渡辺 千尋	羊神	1991年	エングレーヴィング・紙	12.1×7.5	寄贈	42711538
版画	1-E-1028	渡辺 千尋	二人ぼっち	1979年	エングレーヴィング・紙	9.9×5.9	寄贈	42711521
版画	1-E-1029	渡辺 千尋	風のフーガ	1993年	エングレーヴィング・紙	6.2×5.2	寄贈	42711541
版画	1-E-1030	渡辺 千尋	少年の夏	1993年	エングレーヴィング・紙	7.8×6.2	寄贈	42711542
油彩	1-A-664	オチ オサム	無題	制作年不詳	油彩・紙	38.0×27.0	寄贈	42711508
版画	1-E-1031	オチ オサム	富士山展の為の広告	1986年	シルクスクリーン・紙	25.4×19.6	寄贈	42711509
版画	1-E-1032	オチ オサム	無題	1987年	シルクスクリーン・紙	39.3×27.2	寄贈	42711510
彫刻	1-G-85	木塚 忠広	シスターボーイ	1978年	鉛、油彩、アクリル、木、鏡、画布	122.5×154.0×39.8	寄贈	42711501
油彩等	1-A-665	木塚 忠広	おはよう、レオナルドII	1995年	セメント、木	321.6×142.6×20.0	寄贈	42711502
その他	1-K-415	風倉 匠	パフォーマンス「ピアノを打つ(ピアノ狂詩曲)」で使用された鞭	1994年	革、塗料	3.0×189.0	寄贈	42711545
油彩等	1-A-666	酒井 忠臣	絵画 III	1977年	アクリル・画布	260.8×162.0	寄贈	42711503
油彩等	1-A-667	酒井 忠臣	Space '93 内在するフォルム8-20	1993年	墨、木、鉄	211.9×149.0×9.5	寄贈	42711504
油彩等	1-A-668	宇田川 宣人	青春8—風景	1974年	テンペラ、油彩・画布	190.0×190.0	寄贈	42711505
油彩等	1-A-669	宇田川 宣人	ダブルX-4 —メキシコの風	1997年	テンペラ、油彩・画布	181.8×227.4	寄贈	42711506
油彩等	1-A-670	上田 勝也	室の中に	1973年	岩彩・画布(板貼)	91.0×116.7	寄贈	42711507

古美術

種別	所蔵品番号	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	収集法	備品受入番号
染織	14-Hd-371	白地花唐草文様更紗ハンカチーフ	19世紀	木綿	緯82.0 経86.5	寄贈	42711434
染織	14-Hd-372	赤白格子地貝葉写本袋	19世紀	木綿	56.0×19.0	寄贈	42711435
染織	23-Hd-1	赤地花唐草文様更紗上衣	18世紀	木綿	丈64.5 総幅173.5	寄贈	42711427
染織	23-Hd-2	浅葱地花唐草文様更紗上衣	18世紀	木綿	丈66.5 総幅139.2	寄贈	42711428
染織	23-Hd-3	黄地リボン花唐草文様プリント更紗上衣	19世紀	木綿	丈96.0 総幅143.5	寄贈	42711429
染織	23-Hd-4	赤地縞花唐草文様プリント更紗上衣	19世紀	木綿	丈136.0 総幅143.5	寄贈	42711430
染織	23-Hd-5	クバヤ(ブラウス)	20世紀初期	木綿	丈80.0 総幅144.0	寄贈	42711431
染織	23-Hd-6	つぎはぎ文様プリント更紗腰布	1950年～1960年	木綿	緯110.0 経169.5	寄贈	42711432
染織	23-Hd-7	花幾何学文様長上衣	19～20世紀	木綿	丈116.5 幅138.2	寄贈	42801942
染織	23-Hd-8	花幾何学文様長上衣	19～20世紀	木綿	丈116.9 幅137.2	寄贈	42801943
染織	23-Hd-9	花幾何学文様長上衣	19～20世紀	木綿	丈110.0 幅136.5	寄贈	42801944
染織	23-Hd-10	花幾何学文様長上衣	19～20世紀	木綿	丈124.0 幅147.5	寄贈	42801945
染織	23-Hd-11	格子文様長上衣	19～20世紀	絹	丈120.0 幅146.5	寄贈	42801946
染織	23-Hd-12	格子文様長上衣	19～20世紀	絹	丈113.5 幅140.2	寄贈	42801947
染織	23-Hd-13	格子文様長上衣	19～20世紀	木綿	丈114.5 幅147.2	寄贈	42801948
染織	23-Hd-14	縞文様長上衣	19～20世紀	木綿	丈116.9 幅112.8	寄贈	42801949
染織	23-Hd-15	格子文様長上衣	19～20世紀	木綿	丈124.0 幅147.0	寄贈	42801950
染織	23-Hd-16	長袖貫頭衣	19～20世紀	木綿	丈111.2 幅147.2	寄贈	42801951
染織	23-Hd-17	格子に花文様長上衣	1910～20年代か	木綿	丈126.5 幅153.0	寄贈	42801952
染織	23-Hd-18	連珠草花文様長上衣	1910～20年代	木綿	丈111.5 幅138.5	寄贈	42801953
染織	23-Hd-19	格子に草花文様長上衣	1910～20年代	木綿	丈115.3 幅144.2	寄贈	42801954
染織	23-Hd-20	縞に花文様長上衣	1910～20年代	木綿	丈113.5 幅139.5	寄贈	42801955
染織	23-Hd-21	長上衣	1920～30年代	木綿	丈113.2 幅140.0	寄贈	42801956
染織	23-Hd-22	花卉草虫文様長上衣	1920～30年代	木綿	丈110.0 幅126.5	寄贈	42801957
染織	23-Hd-23	花卉草虫文様長上衣	1920～30年代	木綿	丈113.5 幅144.5	寄贈	42801958
染織	23-Hd-24	草花文様長上衣	1920～30年代	木綿	丈103.5 幅134.0	寄贈	42801959
染織	23-Hd-25	草花文様長上衣	1930～50年代	絹	丈115.5 幅148.0	寄贈	42801960
染織	23-Hd-26	花文様長上衣	1940～50年代	木綿	丈110.0 幅131.0	寄贈	42801961
染織	23-Hd-27	花文様長上衣	1940～50年代	木綿	丈109.5 幅144.0	寄贈	42801962
染織	23-Hd-28	花文様長上衣	1940～50年代	木綿	丈116.5 幅128.5	寄贈	42801963
染織	23-Hd-29	草花文様長上衣	1940～50年代	木綿	丈112.1 幅137.5	寄贈	42801964
染織	23-Hd-30	花鳥文様長上衣	1940～50年代か	木綿	丈86.0 幅117.5	寄贈	42801965

種別	所蔵品番号	作品名	時代	素材・技法	法量 (cm)	収集法	備品受入番号
染織	23-Hd-31	花文様長上衣	1940～50年代か	絹もしくは合成繊維	丈121.0 幅149.5	寄贈	42801966
染織	23-Hd-32	扇面花卉草虫文様長上衣	1950～60年代	木綿	丈98.5 幅151.5	寄贈	42801967
染織	23-Hd-33	植物文様長上衣	1950～60年代	木綿	丈98.0 幅127.0	寄贈	42801968
染織	23-Hd-34	幾何学文様長上衣	1950～60年代	木綿	丈98.5 幅131.5	寄贈	42801969
染織	23-Hd-35	草花文様長上衣	1950～60年代	木綿	丈106.0 幅133.0	寄贈	42801970
染織	23-Hd-36	中国服風上衣	1910年代	木綿	丈61.5 幅120.0	寄贈	42801971
染織	23-Hd-37	内着	1920年代	木綿	丈59.6 幅128.0	寄贈	42801972
染織	23-Hd-38	花文様内着	1920～30年代	木綿	丈51.0 幅114.5	寄贈	42801973
染織	23-Hd-39	格子文様腰布	1910～20年代	木綿	緯171.0 経91.5	寄贈	42801974
染織	23-Hd-40	花幾何学文様ハンカチーフ	19～20世紀	木綿	51.0×52.0	寄贈	42801975
染織	23-Hd-41	花鳥文様ボビンレース・ハンカチーフ	1910～20年代	木綿	41.8×36.6	寄贈	42801976
染織	23-Hd-42	花文様レース・ハンカチーフ	1910～20年代	木綿	47.0×35.0	寄贈	42801977
染織	23-Hd-43	長上衣用服地端切(花文様端布)	1910～20年代	木綿	緯316.0 経74.5	寄贈	42801978
染織	23-Hd-44	長上衣用服地端切(花文様端布)	1910～20年代	木綿	緯108.0 経55.0	寄贈	42801979
染織	23-Hd-45	長上衣用服地端切(花鳥草虫文様端布)	1910～20年代	木綿	緯308.0 経74.0	寄贈	42801980
染織	23-Hd-46	長上衣用服地端切(星花文様端布)	1910～20年代	木綿	緯328.0 経86.0	寄贈	42801981
其他	23-Hd-47	靴	1900～20年代	革	長さ22.2 幅6.4 高さ3.8	寄贈	42801982
其他	23-Hd-48	花文様刺繍サンダル甲飾り	1930年代	ビロードに刺繍	台紙:27.2×19.2、 本体:高さ13.7 幅15.3	寄贈	42801983
其他	23-Hd-49	植物文様刺繍サンダル甲飾り	1930年代	ビロードに刺繍	台紙:28.3×18.7、 本体:高さ12.4 幅13.2	寄贈	42801984
其他	23-Hd-50	花文様刺繍サンダル甲飾り	1930年代	ビロードに刺繍	台紙:27.6×19.4、 本体:高さ8.0 幅10.6	寄贈	42801985
其他	23-Hd-51	薔薇文様ビーズサンダル甲飾り	1930年代	ビロードにガラスビーズ	台紙:28.8×20.3、 本体:高さ13.6 幅14.8	寄贈	42801986
其他	23-Hd-52	花文様ビーズサンダル甲飾り	1930年代	ビロードにガラスビーズ	台紙:24.0×19.3、 本体:高さ17.4 幅10.9	寄贈	42801987
資料	研究資料	ボビンレース・ハンカチーフ	2015年頃	木綿	24.3×24.0	寄贈	42711433

図書・映像資料

図書関係受入状況

単位(冊)

		和書	洋書
購入	図書	10	0
	図録	1	6
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	105	24
	図録	500	20
	年報・紀要	257	0
製本資料		0	0
雑誌		337	98
合計		1,210	148
総計		1,358	

映像資料関係受入状況

単位(点)

	購入	寄贈
ビデオ	0	1
レーザーディスク	0	0
コンパクトディスク	0	1
DVD	0	7
合計	9	

修復

近現代美術

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	法量(cm)	制作年	素材・技法	数量
油彩	1-A-636	田中 繁吉	机に寄りて	90.4×116.2	1922	油彩・画布	1点
油彩	1-A-637	田中 繁吉	裸婦	99.5×72.5	1926	油彩・画布	1点
油彩	1-A-655	今長谷 巖	親類の家	97.3×126.5	1941年以前	油彩・画布	1点
水彩	1-C-289	大黒 愛子	題不詳	62.3×47.0	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
水彩	1-C-290	大黒 愛子	題不詳	62.5×47.0	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
水彩	1-C-291	大黒 愛子	題不詳	62.5×46.9	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
水彩	1-C-292	大黒 愛子	題不詳	62.5×45.8	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
水彩	1-C-293	大黒 愛子	題不詳	62.5×46.8	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
水彩	1-C-294	大黒 愛子	題不詳	62.4×46.9	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
水彩	1-C-295	大黒 愛子	題不詳(作品)	21.5×68.5	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
水彩	1-C-296	大黒 愛子	題不詳(作品)	21.5×68.5	1993	アクリル、鉛筆・紙	1点
素描	16-D-23	木下 晋	O氏の像	80.6×122.8	1987	鉛筆・紙(パネルに貼付)	1点
素描	16-D-44	木下 晋	母の孤独	190.0×100.0	2008	鉛筆・紙	1点

古美術

種別	所蔵品番号	作品名	産地(作者)	法量(cm)	制作年	品質	数量
染織	14-Hd-307	唐草文様更紗	インド産	経335.5 緯109.9	17世紀	木綿	1点
染織	14-Hd-313	水牛人物文様更紗	インドネシア産(スラウェシ島向け)	経344.0 緯84.0	19世紀中期	木綿	1点
染織	4-Hd-181	金襴軍袍(亀甲地文牡丹唐草金襴)		丈98.6 衿69.0	桃山時代 16~17世紀	絹製、錦織	1点

貸出

近現代美術

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期	
油彩等	海老原 喜之助	傷身	1-A-30	生誕110年海老原喜之助展	横須賀美術館	平成27年2月7日～4月5日	
油彩等		聖者の楽日	1-A-31				
油彩等		花ぬす人	1-A-257				
油彩等		白い鳥・黒い鳥	1-A-289				
油彩等		走馬燈	1-A-349				
素描	赤瀬川 原平	千円札(風倉匠の肖像)	2-D-1520	赤瀬川原平の芸術言論展	広島市現代美術館	平成27年3月21日～5月31日	
写真	小林 正徳	集団ポートレート(檻)	1-F-544				
写真	石黒 健治	赤瀬川原平作品 「ヴァギナのシーツ」を着る風倉	2-F-358				
写真	東松 照明	パフォーマンス(ネオ・ダダ)赤瀬川原平	2-F-388				
油彩等	藤森 静雄	(自画像)	1-A-500	『月映』展	愛知県美術館 東京ステーションギャラリー	平成27年4月17日～5月31日 平成27年9月19日～11月3日	
版画		自然と人生(「月映」I 所収)	1-E-356				
版画		夜(「月映」I 所収)	1-E-357				
版画		あゆめるもの(「月映」I 所収)	1-E-358				
版画		心のながれ(「月映」I 所収)	1-E-359				
版画		人類(「月映」I 所収)	1-E-360				
版画		亡びゆく肉(「月映」IV 所収)	1-E-366				
版画		枝をはなれ一つの果(「月映」IV 所収)	1-E-367				
版画		聖なる夜(「月映」IV 所収)	1-E-368				
版画		墓穴を掘る人々(「月映」IV 所収)	1-E-369				
版画		妹の葬らるべき日(「月映」IV 所収)	1-E-370				
版画		へだてられたるもの(「月映」IV 所収)	1-E-371				
版画		悲しきねがひ(「月映」IV 所収)	1-E-372				
版画		五月	1-E-778				
その他		第一号 金蓮花のつゆ(日記)	1-K-409				
その他		第貳号 梅の一輪(日記)	1-K-410				
その他		第四月号 汽笛の響き(日記)	1-K-411				
水彩等		題不詳(庭の木)	19-C-6				
素描		題不詳	19-D-1				
素描		題不詳	19-D-2				
素描		題不詳(裸婦)	19-D-3				
版画		題不詳	19-E-200				
版画		題不詳	19-E-201				
版画		夜のピアノ	19-E-205				
版画	恩地 孝四郎	伴病めり(抒情IV、「月映」I 所収)	2-E-223				
版画		抒情 I(「月映」I 所収)	2-E-224				
版画		抒情 III(「月映」I 所収)	2-E-225				
版画		ただよへるもの(「月映」I 所収)	2-E-226				
版画		夏日小景(「月映」I 所収)	2-E-227				
版画		泪してあふぐ日(「月映」IV 所収)	2-E-233				
版画		おさむるものと地の哀傷(「月映」IV 所収)	2-E-234				
版画		とぶもの・つけるもの(「月映」IV 所収)	2-E-235				
版画		のこるこころ(「月映」IV 所収)	2-E-236				
版画		そらよりくだるかげ(「月映」IV 所収)	2-E-237				
版画		EX・LIBRIS 死によりて あげらるる生(「月映」IV 扉)	19-E-250				
版画		田中 恭吉	病める夕(「月映」I 所収)				2-E-249
版画			太陽と花(「月映」I 所収)				2-E-250
版画	埋葬(「月映」IV 所収)		2-E-253				
油彩等	野口 弥太郎	パリの眺め	1-A-149	野口彌太郎大回顧展	諫早市美術・歴史館	平成27年3月1日～5月6日	

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
版画	ロベール・ドロネー	塔	3-E-29	空飛ぶ美術館	三重県立美術館	平成27年3月7日～5月6日
版画		空中からの塔のながめ	3-E-33			
版画		パリの橋とノートルダム寺院	3-E-34			
版画		エトワール広場	3-E-35			
版画	アンリ・マティス	ジャズ8 イカルス	3-E-365			
油彩等	ジョアン・ミロ	ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子	3-A-10	「モダン百花繚乱ー 「大分世界美術館」	大分県立美術館	平成27年4月24日～7月20日
油彩等	レオナルド・フジタ (藤田嗣治)	仰臥裸婦	3-A-6			
油彩等	宮崎 静夫	ドラム缶・午後	1-A-488	「宮崎静夫展」	熊本県立美術館分館 (4F会場)	平成27年5月26日～5月31日
油彩等		パンの花	1-A-489			
油彩等		帰郷	1-A-490			
工芸等	北村 西望	平和記念像	7-H-5	平和美術企画展	鹿児島市立美術館	平成27年5月26日～7月12日
版画	ベン・シャーン	鳥がどんな風に飛ぶのか	3-E-69	「Peace & Art～あなた にとって平和とは?～」		
版画		思いがけない出会い	3-E-72			
版画		愛の多くの夜の思い出	3-E-81			
版画	ジョージ・グロス	自由、平等、博愛／労働者の光と風／ 労働者の休日(「神は我らとともに」)	3-E-667			
油彩等	田崎 広助	森の道(夏小路)	1-A-51	伝説の洋画家たち	東京都美術館	平成27年7月18日～9月6日
油彩等	織田 廣喜	黒装	1-A-172	二科100年展	大阪市立美術館	平成27年9月12日～11月1日
					石橋美術館	平成27年11月7日～12月27日
版画	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ缶(ビーフ)	3-E-207	「ポップ・アート 1960's-2000's FROM MISUMI COLLECTION」	熊本市現代美術館	平成27年7月25日～9月27日
版画		キャンベル・スープ缶(黒豆)	3-E-208			
版画		キャンベル・スープ缶(チキンヌードル)	3-E-209			
版画		キャンベル・スープ缶(コンソメ)	3-E-210			
版画		キャンベル・スープ缶(きのことクリーム)	3-E-211			
版画		キャンベル・スープ缶(グリーンピース)	3-E-212			
版画		キャンベル・スープ缶(玉ねぎ)	3-E-213			
版画		キャンベル・スープ缶(ペッパー・ポット)	3-E-214			
版画		キャンベル・スープ缶(トマト)	3-E-215			
版画		キャンベル・スープ缶(野菜)	3-E-216			
版画		デイヴィッド・ホックニー	道化			
版画	ウィッカー・チェアアのシーリア		3-E-336			
版画	シーリアが見ている		3-E-337			
写真		デイヴィッド・グレイヴス、ベイズウォーターを望む、ロンドン 1982年11月	3-F-59			
写真		奈良の大仏 1983年2月18日	3-F-60			
油彩等	ジャン＝ミシェル・バスキア	無題	3-A-179			
油彩等	リサ・ミルロイ	靴	3-A-172			
油彩等	松本 竣介	彫刻と女	2-A-39	「戦後美術の出發」	群馬県立近代美術館	平成27年9月19日～11月3日
油彩等	阿部 展也	アダムとイヴ	2-A-12			
水彩	青木 繁	「黄泉比良坂」習作	7-C-1	「神々の黄昏-東西のヴィーナス会 う世紀末、心の景色(れんぎ、西東)	大分県立美術館	平成27年10月31日～平成28年2月24日
日本画	横山 大観	朧月	2-B-6	「橋本雅邦と幻の四天王」	松本市美術館	平成27年10月31日～11月29日
油彩等	高島 野十郎	早春池畔	1-A-280	「没後40年高島野十郎展」	福岡県立美術館	平成27年12月4日～平成28年1月31日
油彩等		寧楽の春	1-A-281			
日本画	川合 玉堂	薫風	7-B-11	「都城 美の足跡～雪舟ゆ かり絵師から現代作家まで」	都城市立美術館	平成28年1月2日～2月28日
日本画		漁村春晴	7-B-12			
日本画	川端 玉章	濱離宮四時佳景	7-B-14			
版画	恩地 孝四郎	抒情 III(「月映」I 所収)	2-E-225	「恩地孝四郎展」	東京国立近代美術館	平成28年1月13日～2月28日
版画		夏日小景(「月映」I 所収)	2-E-227			
版画		人体・少女	19-E-8			
素描		題不詳	2-D-1528			
素描		月に吠える石持つ胴体	2-D-1529			
素描		題不詳	2-D-1531			
写真		フォトグラム	3-F-393			
写真		フォトグラム	2-F-390			

古美術

種別	産地（作者）	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画重美	宮本武蔵	布袋見闘鶏図	6-B-29	「動物絵画の250年」	府中市美術館	平成27年3月7日～5月6日
絵画	狩野常信	瑞亀図	4-B-16			
絵画	狩野洞雲	唐松白鹿図	7-B-84			
絵画	仙厓義梵	南泉斬猫図	9-B-48			
陶磁		唐物茶入 銘「博多文琳」	4-Ha-3			
其他		白熊采配	4-Hf-167			
染織		金襴軍袍(亀甲地文牡丹唐草金襴)	4-Hd-181			
其他		法螺貝(北条白貝)	4-Hf-172			
陶磁器	高取焼 内ヶ磯窯	斑釉透文手付台鉢	14-Ha-138			
陶磁	上野焼 釜ノ口窯	上野割山椒形向付	6-Ha-110			
絵画	仙厓義梵 (1750～1837)	円相図	9-B-9	「シンプルなかたち展」	森美術館	平成27年4月1日～7月31日
絵画	仙厓義梵 (1750～1837)	犬図	9-B-7	「いぬ・犬・イヌ」	渋谷区立松濤美術館	平成27年4月7日～5月24日
絵画	仙厓義梵 (1750～1837)	子孫繁昌図	9-B-24			
其他		梵字采配	4-Hf-169-2	「徳川家康没後四百年記念 大関ヶ原展」	江戸東京博物館 京都文化博物館 福岡市博物館	平成27年3月28日～5月17日 平成27年6月2日～7月26日 平成27年8月7日～10月4日
漆工		梨子地三葉葵紋戴金鞍	4-Hb-164			
絵画	伝・梁楷 (12～13世紀)	鶏骨図	6-B-1	「再会 ふくいゆかりの名宝達～里帰り文化財展～」	福井県立歴史博物館	平成27年10月24日～11月23日
絵画	作者不詳	中将姫絵詞	4-B-93	「回忌ってなあに？」	北九州市立小倉城庭園	平成27年7月4日～9月2日
絵画重文	尾形乾山 (1663～1743)	花籠図	6-B-36	琳派誕生400年記念 特別展覧会 「琳派 京を彩る」	京都国立博物館	平成27年10月10日～11月23日
絵画	狩野探幽 (1602～1674)	富士山	7-B-76	都城島津の絵師から 現代まで	都城島津邸	平成28年1月5日～2月28日
絵画	狩野常信	寿老人・竹・松図	4-B-17			
絵画	長谷川派筆、 春屋宗園 (1529-1611)賛	如水居士像	4-B-43	「筑前黒田家が伝えた 名宝～福岡市美術館 のコレクションより」	香雪美術館	平成27年8月22日～10月18日
絵画重文	作者不詳	泰西風俗図屏風	4-B-98			
絵画	伝・戴嵩	春曉牧群図	4-B-80			
絵画	伝・徐熙	花卉草蟲図卷	4-B-81			
絵画	呂紀	花鳥図	4-B-3			
絵画	伝・辺文進	紅蓼白鷺図	4-B-197			
絵画	伝・辺文進	百鳥図	4-B-196			
絵画	伝・貫休	釈迦像	4-B-2			
絵画	作者不詳	不動明王図	4-B-4			
絵画重美	雪舟	寿老図	4-B-5			
絵画	伝・蘇軾	竹図	4-B-1			
絵画	狩野探幽	獺図	4-B-13			
絵画	狩野探幽筆 沢庵宗彭賛	宗英公(忠之)像	4-B-48			
絵画	狩野探幽	観音・四皓・七賢図	4-B-11			
絵画	狩野安信	人麿・須磨・明石図	4-B-15			
絵画	狩野昌運	鴻門会・孔雀・鳳凰図	4-B-33			
絵画	狩野昌運	百流之絵鑑	4-B-172			
絵画	長谷川派	韃靼人狩獵図屏風	4-B-102			
絵画	土佐光起 (1617～1691)	磯千鳥図屏風	4-B-99			
絵画	作者不詳	塩竈松島図屏風	4-B-101			
絵画	円山応挙 (1733～1795)	龍門登鯉図	4-B-24			
絵画	円山応瑞 (1766～1829)	鶏に藤図	4-B-175			
絵画	司馬雲妓	霞ヶ関登城図	4-B-28			
絵画	宋紫山	阿蘭陀絵帖	4-B-105			
絵画	作者不詳	菊花図卷	4-B-95			
絵画	渡邊玄對	梅花小禽図	4-B-177			
絵画	中林竹溪	唐太宗觀蝗図	4-B-27			
絵画	天璋院	竹図	4-B-77			
書跡	作者不詳	紺紙金字能浄一切眼疾病陀羅尼經	4-I-25			

種別	産地(作者)	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
書跡	小堀遠州 (1579~1647)	文琳記	4-I-6			
書跡	小堀遠州 (1579~1647)	文琳茶壺之記	4-I-5			
書跡	江月宗玩 (1574~1643)	江月宗玩墨蹟(十里松間絶句)	4-I-8			
書跡	江月宗玩	江月宗玩墨蹟	4-I-9			
書跡	江月宗玩	飯銅水之記	4-I-10			
書跡	春屋宗園 (1529~1611)	渡辺記	4-I-7			
陶磁		唐物茶入 銘「博多文琳」	4-Ha-3			
陶磁		唐物大海茶入 銘「横雲」	4-Ha-7			
陶磁	瀬戸焼	古瀬戸肩衝茶入 銘「夏山」	4-Ha-6			
陶磁		瀬戸後窯茶入 銘「道味」	4-Ha-13			
陶磁	薩摩焼	薩摩肩衝茶入 銘「九重」	4-Ha-11			
陶磁	瀬戸焼	瀬戸肩衝茶入 銘「辰市」	14-Ha-51			
金工		芦屋釜	4-Hc-18			
染織		木之丸(渡辺)茶入の替蓋、仕服	4-Hd-211			
彫刻	竜寿軒可志	能面「翁」	4-G-23			
漆工	狩野探幽、狩野 永真、狩野洞雲	牡丹文蒔絵太鼓	4-Hb-21			
漆工	弥左衛門	貝尽文蒔絵大鼓胴	4-Hb-22			
漆工		波千鳥文蒔絵十種香道具	4-Hb-201			
漆工		竹牡丹文蒔絵筆筒(源氏物語入)	4-Hb-25			
漆工		秋草文蒔絵香箱	4-Hb-200			
漆工		田植図蒔絵螺鈿料紙箱・硯箱	4-Hb-198			
漆工		柏七宝紋片身替蒔絵提筆筒	4-Hb-28			
漆工		提筆筒	4-Hb-29			
漆工	千鶴齋	松竹梅鶴蝶文蒔絵刀架	4-Hb-179-2			
漆工		藤巴桐紋露置薄文蒔絵挾箱	4-Hb-35			
漆工		菊籬文蒔絵挾箱	4-Hb-26			
染織		赤地雲龍文様錦袴	4-Hd-204			
染織		永楽通宝の陣羽織	4-Hd-184			
金工		桜に蝶飾り銀筥狹子びらびら	4-Hc-195			
其他		菊に蝶飾り鼈甲揃物	4-Hf-212			
其他		青龍刀鼈甲花簪	4-Hf-220			
其他		松に編笠鼈甲花簪	4-Hf-221			
其他		宝尽鼈甲花簪飾り	4-Hf-218			
其他		桜瓢箪瀧字鼈甲花簪飾り	4-Hf-216			
其他		波千鳥に硯鼈甲花簪	4-Hf-213			
其他		御簾にあやめ鼈甲花簪飾り	4-Hf-219			
金工		自在蟹置物	4-Hc-196			
書跡重文	空海(774~835)	金剛般若経開題残卷	6-I-1	弘法大師と高野参詣	和歌山県立博物館	平成27年9月19日~11月1日
陶磁	高取焼 永満寺宅間窯	肩衝茶入	14-Ha-11	「高取焼と筑豊の茶の湯展」	飯塚市歴史資料館	平成27年10月24日~12月1日
陶磁	高取焼 内ヶ磯窯	耳付茶入 銘「霧島」(黒田家伝来)	14-Ha-120			
陶磁	高取焼 内ヶ磯窯	飴釉肩衝茶入	14-Ha-119			
陶磁	高取焼 内ヶ磯窯	掛分割高台洲浜形茶碗「王」字印	14-Ha-149			
陶磁	高取焼 内ヶ磯窯	高取斑釉耳付水指	14-Ha-1			
陶磁器	高取焼 内ヶ磯窯	斑釉透文手付台鉢	14-Ha-138			
陶磁	高取焼 白旗山窯	耳付茶入	14-Ha-48			
陶磁	高取焼 白旗山窯	掛分面取半筒茶碗	14-Ha-82			
陶磁	高取焼 内ヶ磯窯	綴目一重口水指	14-Ha-125			
金工		線刻大日如来像経筒	6-Hc-19	「四王寺山の1350年 -大野城から祈りの山へ-」	九州歴史資料館	平成27年10月24日~12月6日
絵画	伝・黒田斉清	鷲鳥図	4-B-191	「黒田斉清という殿様」	福岡市博物館	平成28年2月29日~4月17日

展示室

※観覧料の記載のないものは無料
 ※濃い色の日付は休館日
 ※○かこみは祝日

4月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	2	③	④	⑤
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
特別展示室 A																					準備		アンコール・ワットへのみち 神々の彫像 (4/28~6/14) 観覧料 一般 1,300円(1,100円) 高大生 800円(600円) 小中生 500円(300円)													
特別展示室 B																					第46回 正筆会菁華書作展巡回展 九州地区正筆会展 書作品 約70点 観覧者数:1,469人		第15回上野彦馬賞 九州産業大学 フォトコンテスト受賞作品展 写真 約110点 毎日新聞福岡本部西部本社事業部 藤野 博英 観覧者数:383人													
市民 ギャラリー A																					改組 新 第1回 展 (3/28~4/19)		荒巻ゼミナール写真展 写真 約100点 九州産業大学芸術学部写真映像学科荒巻研究室 荒巻 大樹 観覧者数:239人													
市民 ギャラリー B																					日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 約450点		第3回薫園書友の会作品展 書作品 約200点 薫園書友の会 辻山 清香(薫園) 観覧者数:265人													
市民 ギャラリー C																					観覧料 一般 1,200円 高大生 700円 (中学生以下無料)		第1回 正筆会菁華書作展巡回展 九州地区正筆会展 書作品 約200点 観覧者数:1,840人													
市民 ギャラリー D																					観覧者数:14,976人 (4/1~4/19)		伊東祇彦 喜寿記念展 油絵 約45点 伊東 祇彦 観覧者数:258人													
																							第16回 土のちから展 陶作品 約100点 土のちからの会 原口 隆 観覧者数:409人													

5月

室名	日	1	2	③	④	⑤	⑥	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	6/1	2	3	4
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
特別展示室 A	アンコール・ワットへのみち 神々の彫像 (4/28~6/14) 観覧料 一般 1,300円 高大生 800円 小中生 500円 (1,100円) (600円) (300円)																																			
特別展示室 B	第15回上野彦馬賞 九州産業大学 フォトコンテスト受賞作品展 写真 約110点 観覧者数:1,084人			大河内仙嶽と その仲間たち 書作品 約70点 福岡風雲会 持永 英輔 観覧者数:310人			幻想表現の世界 春日光義 個人展 油絵、ドローイング等 約40点 観覧者数:997人			大野城市美術連盟会員展 油絵、日本画、書、工芸、写真 約130点 観覧者数:877人			鴻巣書作展 書作品 約120点 観覧者数:1,337人			三国三地 国際交流 写真展																				
市民 ギャラリー A	荒巻ゼミナール写真展 写真 約100点 九州産業大学芸術学部 写真映像学科荒巻研究室 荒巻 大樹 観覧者数:463人			チョークアート グループ展vol.4 チョークアート 約60点 観覧者数:459人			[時]写真展 写真 約50点 観覧者数:665人			瑠璃の会 七宝展 写真 約60点 観覧者数:987人			[岩永豊のステップアップ写真塾] 写真展 写真 約30点 観覧者数:786人			第2回 新作能面展																				
市民 ギャラリー B	第3回薫園書友の会作品展 書作品 約200点 観覧者数:633人			ステンドグラス末種 アート生徒展透過 光の世界への誘い ステンドグラス 約200点 観覧者数:669人			嶺さえ子 水彩展 水彩画 約30点 観覧者数:960人			翔の会 油彩画、パステル画 約60点 観覧者数:809人			第33回 [グループわらべ]水彩画展 水彩画等 約80点 観覧者数:846人			第20回日本 原色押花 合同展																				
市民 ギャラリー C	伊東祇彦 喜寿記念展 油絵 約45点 観覧者数:533人			九大美術部OB /OG有志展 油彩画等 約40点 観覧者数:233人			2015 洋画グループ 虹の会&ドリーム展 油絵、水彩画 約60点 観覧者数:736人			どんぐりの会水彩画展 水彩画、パステル画、木炭画等 約60点 観覧者数:823人			墨心会展 水墨画等 約90点 観覧者数:813人			賛華会 写真展																				
市民 ギャラリー D	第16回 土のちから展 陶作品 約100点 観覧者数:783人			河野操 書作展 書作品 約60点 観覧者数:337人			第7回宙の会展 水彩画、油絵、デザイン 約40点 観覧者数:315人			MAVIE展 油絵、水彩画、日本画等 約50点 観覧者数:992人			アトリエ エトルリア合同展 ステンドグラス等 約230点 観覧者数:1,349人			不老光子 回顧展																				

6月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	2	3	4	5
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室 A	アンコール・ワットへのみち 神々の彫像 (4/28~6/14) 観覧料 一般 1,300円 高大生 800円 小中生 500円 (1,100円) (600円) (300円)														撤 収							第111回太平洋展 第50回記念太平洋西日本展 油彩画、水彩画、版画、染織等 約200点 観覧料 一般 800円 高大生 600円 (中学生以下無料) 観覧者数：3,762人							第65回モダンアート福岡展 絵画、彫刻、版画、写真等 約140展 観覧料 一般700円 高大生350円							
特別展示室 B	三国三地国際交流写真展 写真 約180点 福岡国際交流写真協会 観覧者数：1,330人							木塚忠広 蚕(回顧)展 油絵、立体 約50点 観覧者数：1,491人							深川芳子展 絵画のような布を着る ろうけつ染め 約95点 観覧者数：305人							齋藤正明写真展 「天に近づくとこころ」 書と写真 約85点														
市民ギャラリー A	第2回新作能面展 能面 約50点 観覧者数：748人							アトムメンバー作品展 水彩画等 約50点 観覧者数：329人							現代押し花 アート展 押し花額等 約50点 観覧者数：723人							藤喜三次 77陶展 陶芸作品 約6点 観覧者数：605人							フォト百道浜写真展 写真 約50点							
市民ギャラリー B	第20回日本原色押花合同展 押花作品 約200点 観覧者数：928人							突展2015 福岡教育大学美術科 58年度生中心OB有志展 油彩画、水彩画、彫刻等 約50点 観覧者数：709人							2015 福岡フォト倶楽部写真展 写真 約50点 観覧者数：772人							彩洪水彩画展 水彩画 約60点 観覧者数：885人							子じか会作品展 壁面構成、モザイクアート、押し花等 約150点							
市民ギャラリー C	賛華会写真展 写真 約40点 観覧者数：696人							水の会かな書展 書作品 約40点 観覧者数：934人							朝日カルチャーセンター福岡 教室カメラ講座第2回作品展 写真 約50点 観覧者数：1,015人							白磁上絵付け作品展 白磁上絵付け作品 約300点 観覧者数：591人														
市民ギャラリー D	不老光子 回顧展 油絵 約30点 観覧者数：840人							第30回水墨祥泉会展 水墨画、墨彩画 約60点 観覧者数：936人							福岡西水会水彩画展 水彩画 約60点 観覧者数：729人							第25回江墨会水墨画展 水墨画 約80点 観覧者数：972人							瑞の会書作品展 書作品 約150点							

7月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4						
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
特別展示室 A	第65回 モダンアート福岡展 絵画、彫刻、版画、写真等 約140点 観覧料 一般700円 高大生350円 観覧者数：1,348人							第74回創元展 同時開催 創元会西日本美術展 絵画 約250点 観覧料 一般 800円 大学生以下無料 観覧者数：3,517人							九州・山口・沖縄代表書作家展 書作品 約80点 観覧者数：1,172人							閉 室							準 備													
特別展示室 B	齋藤正明写真展 「天に近づくとこころ」 書、写真等 約85点 観覧者数：309人							第7回「写団こが」作品展 写真 約40点 観覧者数：870人							白日会 南日本絵画同人展 絵画 約90点 観覧者数：1,425人							平成27年度第30回福岡県 高等学校美術・文化連盟 福岡地区美術・工芸展 油絵、水彩画、工芸、彫刻等 約500点 観覧者数：831人							韓日閨房文化交流展 タペストリー、衣類、組紐等 約1,000点 観覧者数：699人													
市民ギャラリー A	フォト百道浜写真展 写真 約50点 フォト百道浜 観覧者数：542人							火曜日の仲間展 絵画 約30点 観覧者数：686人							西写協博多支部 第13回金曜会作品展 写真 約50点 観覧者数：827人							LEGEND48 一次郎展Ⅷー 写真 約200点 観覧者数：542人							クロスステッチ刺繍展 クロスステッチ刺繍作品 約50点 観覧者数：1,072人													
市民ギャラリー B	子じか会作品展 壁面構成、モザイクアート、押し花等 約150点 観覧者数：951人							グループもの樹作品展 絵画 約70点 観覧者数：703人							私のあゆみその二と グループ展 短冊、色紙、掛軸、額等 約50点 観覧者数：604人							九州日中水墨画研究会 第17回書画作品展 水墨画等 約180点 観覧者数：908人							第38回西日本版画協会展 版画等 約60点 観覧者数：867人													
市民ギャラリー C	瑞の会書作品展 書作品 約150点 観覧者数：895人							第55回西日本7ホコネスト 写真 約70点 観覧者数：1,105人							みつたまの会 水彩画 約60点 観覧者数：793人							第19回 書道研究温知会 福岡支部書作展 書作品 約50点 観覧者数：783人							39周年南蛮フォトクラブ写真展 写真 約60点 観覧者数：1,146人													
市民ギャラリー D															広げよう 動物の輪 色鉛筆画、写真、グラフィックデザイン等 約70点 観覧者数：703人														花の会 福岡 写真 約60点 観覧者数：1,149人													

8月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2	3	4
	曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
特別展示室 A	準備										肉筆浮世絵の世界 (8/8~9/20) 観覧料 一般1,400円 高校生800円 小中生500円 (1,200円) (600円) (300円)										菱川宗理《見立六歌仙図》 板橋区立美術館															
特別展示室 B	韓日閩房文化交流展 タペストリー、衣類、緞緞等 約1000点	曹亞鋼水墨芸術学院 日中芸術交流25周年記念展 水墨画、墨彩画等 約150点 観覧者数：1,065人					創立130周年記念 福岡女学院の美術教育展 水彩画、油絵、陶芸等 約600点					井上寛七の世界 観彩回廊-四国遍路・心のかたち展 水彩画 約100点 観覧者数：1,416人					第12回桃明中国水墨画 書道研究会展 水墨画等 約90点 観覧者数：1,600人					15 奥田敬介作品展 洋画 約35点														
市民ギャラリー A	クロスステッチ刺繍展 クロスステッチ刺繍作品 約50点	榊カメラ散歩の会写真展 写真 約30点 観覧者数：770人					観覧者数：3,766人					今井和子水彩画展 水彩画 約35点 観覧者数：883人					OZCオリンパス スイコークラブ写真展 写真 約50点 観覧者数：580人					69 第34回福岡きりえ展 切り絵 約50点														
市民ギャラリー B	第38回西日本版画協会展 版画等 約60点	七曜舎ヌードデッサン展 ヌードデッサン 約70点 観覧者数：609人					九州大学写真部八月展 写真 約30点 観覧者数：583人					グループめだか 第9回色鉛筆画作品展 色鉛筆画 約60点 観覧者数：791人					書の煌めき展 書作品 約50点 観覧者数：909人					70 博美会油絵展 油絵 約40点														
市民ギャラリー C	39周年南蛮アトクラブ写真展 写真 約60点	第24回鎮西フォトクラブ福岡写真展 写真 約60点 観覧者数：883人					第4回西区志岐南公民館 写真サークル作品発表会 写真 約60点 観覧者数：500人					紫彩展 絵画、彫刻、陶芸等 約30点 観覧者数：622人					グループテオ展 絵画、版画、皮革工芸等 約65点 観覧者数：580人					71 もちもちパレス 洋画エルサバド 油絵 約40点														
市民ギャラリー D	花の会福岡 写真約60点	第32回観生会展 書作品 約40点 観覧者数：545人					第43回福岡教育大学書道科 福岡県人書作展 書作品 約20点 観覧者数：480人					李銀山書法展(福岡) 書作品 約50点 観覧者数：591人					72 第47回游展 絵画 約60点																			

9月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	㉑	㉒	㉓	24	25	26	27	28	29	30	10/1	2	3	4	5
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室 A	肉筆浮世絵の世界 (8/8~9/20) 観覧料 一般1,400円 高校生800円 高校生500円 (1,200円) (600円) (300円)										撤去								準備																	
特別展示室 B	奥田敬介作品展 洋画 約35点 観覧者数：3,980人					第10回多摩美術大学九州地区校友会展 油絵、彫刻、陶磁器等 約160点 観覧者数：3,013人					第35回二科会写真部九州・沖縄地区公募展 写真 約400点 観覧者数：4,915人					平成27年景柳会書作展 書作品 約80点 観覧者数：601人					吉田勇輔油彩画展 油彩画 約70点 観覧者数：人															
市民ギャラリー A	第34回福岡きりえ展 切り絵 約50点 観覧者数：1,223人					能面工房かめいの仲間 新作能面展 能面 約50点 観覧者数：959人					第45回青像グループ写真展 写真 約50点 観覧者数：881人					アートもち 油絵、水彩画等 約40点 観覧者数：453人					第45回福岡市高齢者美術展 洋画、日本画、書、写真等 約150点 観覧者数：人															
市民ギャラリー B	博美会油絵展 油絵 約40点 観覧者数：962人					福岡アートフェスティバル2015 韓国交流写真展 写真 約550点 観覧者数：1,216人					江島曜一書展 ～王義之・王鐸に導かれて～ 書作品 約30点 観覧者数：708人					第16回イーゼル会 うび会絵画展 油絵 約40点 観覧者数：357人																				
市民ギャラリー C	もちもちパレス 洋画エルサバド 油絵 約40点 観覧者数：782人					第19回さくら会水彩画展 水彩画 約70点 観覧者数：1,028人					第47回てん・ぐるうぶ展 油彩画、水彩画、鉛筆画等 約70点 観覧者数：1,190人					日本ボタニカルアート会 ボタニカルアート&創作絵本展 水彩画、絵本等 約80点 観覧者数：432人					九州藍筍会展 書作品 約100点 観覧者数：人															
市民ギャラリー D	第47回游展 絵画 約60点 観覧者数：866人					第19回さくら会水彩画展 水彩画 約70点 観覧者数：1,028人					渡邊 瑠璃個展 絵画、陶器 約15点 観覧者数：517人					水墨画展 南塚墨会、博多古賀会 水墨画 約50点 観覧者数：552人																				

10月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	11/1	2	3
		曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室 A	準備	国宝 曜変天目茶碗と日本の美 —藤田美術館の至宝— (10/6~11/23) 観覧料 一般 1,400円 高大生 800円 中学生以下無料																																	
特別展示室 B	吉田勇輔油彩画展 油彩画 約70点 観覧者数：526人	設展2015 PSY-TEN 平面、立体、インスタレーション、写真等 約30点 観覧者数：1,135人											武蔵野美術大学校友会 福岡支部展 油絵、日本画、陶芸、彫刻等 約50点 観覧者数：1,320人																						
市民ギャラリー A	第45回 福岡市 高齢者美術展 洋画、日本画、書、 写真等 約150点 観覧者数：1,029人	彫刻と自然が好きなお人々たち 彫刻 約60点 観覧者数：840人											グループいろは 油絵、水彩画 約45点 観覧者数：649人											第47回 九州かな書道協会展 書作品 約300点 観覧者数：1,057人						福岡市美術連盟 創立20周年記念展 日本画、油彩、写真、陶器等 約180点 観覧者数：1,581人					
市民ギャラリー B		田代一倫写真展 —はまゆりの頃に— 写真 約100点 観覧者数：559人											第10回 ぶらり筆本の会作品展 筆本画 約100点 観覧者数：835人																						
市民ギャラリー C		IZUMI 水彩画、油彩画 約90点 観覧者数：967人											第46回 福岡市医師会文化祭美術展 水彩画、油絵、写真等 約50点 観覧者数：1,921人																						
市民ギャラリー D		九州藍荷会展 書作品 約100点 観覧者数：632人											薫風会 仏像彫刻作品展 仏像彫刻 約150点 観覧者数：1,216人																						

11月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	12/1	2	3	4	5					
		曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
特別展示室 A	準備	国宝 曜変天目茶碗と日本の美 —藤田美術館の至宝— (10/6~11/23) 観覧料 一般 1,400円 高大生 800円 中学生以下無料																																							
特別展示室 B	福岡市美術連盟創立二十周年記念展	明日へのメッセージ2015 —作家の視点— 油彩、テンペラ画、アクリル画等 約30点 観覧者数：1,958人											岩永敬子個展 油絵 約40点 観覧者数：926人											撤去 国宝 曜変天目茶碗 南宋時代						第67回 毎日書道展九州展 書作品 約1,000点 観覧料 一般 500円 (大学生以下無料)											
市民ギャラリー A		懐かしの福博、百道 ～周辺スケッチ展～ 水彩画、色鉛筆、墨絵 約50点 観覧者数：582人											平成27年度 福岡市障がい児・者美術展 —福岡市コアサイトアート 2015— 絵画、陶芸、書、写真等 約500点 観覧者数：1,401人											福岡市東区美術協会会員展 油絵、日本画、水彩画、彫刻等 約60点 観覧者数：1,982人						江源個展 彫刻、絵画 約30点 観覧者数：398人											
市民ギャラリー B		第18回 石耀展 書作品 約50点 観覧者数：755人											第36回 中央区市民文化祭 美術作品展 絵画、書作品、写真、手工芸等 約500点 観覧者数：919人											ゼミナル写真展 写真 約40点 観覧者数：400人						第31回 城南区市民アート展 絵画、書、写真、工芸 約200点											
市民ギャラリー C		ゆう美会 絵手紙、水彩画、書、写真等 約90点 観覧者数：813人											第45回 玄霜会日本画展 日本画 約40点 観覧者数：1,021人											第5回 八富会水彩画展 水彩画 約60点 観覧者数：458人												水彩抄7 水彩画 約40点 観覧者数：433人					
市民ギャラリー D		第21回学校飼育動物 スケッチコンクール 水彩画等 40点 観覧者数：672人											西南学院創立100周年記念 西南学院大学学文会 OB・OG連合美術展 日本画、油絵、写真等 約60点 観覧者数：906人											第38回福岡市 退職小学校長会作品展 水彩画、版画、油絵、書作品等 約75点 観覧者数：804人												第15回 ロータリージュニア美術展 水彩画、油絵、版画等 約150点					

12月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/0	2	3	4
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
特別展示室 A	第67回 毎日書道展九州展 書作品 約1,000点							第70回 行動展 油絵、アクリル画、彫刻等 約190点 観覧料 一般 800円 高大生 600円 (高校生以下無料) 観覧者数：1,332人							準備							マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 (12/22～2/21) 観覧料 一般 1,500円 高大生 1,000円 小中学生 500円							マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展							
特別展示室 B	観覧料 一般 500円 (大学生以下無料) 観覧者数：3,178人																					クロード・モネ (印象、日の出) 1872年														
市民ギャラリー A	第31回 城南区市民アート展 絵画、書、写真、工芸 約200点 観覧者数：777人							第35回 南区美術展 絵画、彫刻、書、写真、工芸等 約120点 観覧者数：903人							蒼騎会九州支部絵画展 油絵、水彩画、日本画 約55点 観覧者数：547人							西日本新聞書道之友展 2015 書作品 約1500点 観覧者数：2,665人							年末年始休館 (但し1/2, 1/3はモネ展開催)							
市民ギャラリー B																																				
市民ギャラリー C																																				
市民ギャラリー D	第15回 ロータリージュニア美術展 水彩画、版画、油彩画等 約150点 観覧者数：659人							福岡大学書道部 創立55周年記念書道展 書作品 約60点 観覧者数：412人							北九州美術家連盟会員3人展 油彩画、水彩画 約45点 観覧者数：818人																					

1月

室名	日	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4													
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木													
特別展示室 A	マルモッタン・モネ美術館所蔵							マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 (12/22～2/21) 観覧料 一般 1,500円 (1,300円) 高大生 1,000円 (800円) 小中学生 500円 (300円)																																									
特別展示室 B	観覧料 一般1500円 (1300円) 高大生1000円 (800円) 小中学生500円 (300円)																																																
市民ギャラリー A	第64回 福岡県小学校児童画展 絵画、版画等 約800点 観覧者数：5,699人							第37回 読売学生書展 書作品 約1,400点 観覧者数：1,944人							写真好作品展 写真 約40点 観覧者数：461人							九州造形短期大学 第47回卒業制作展 絵画、彫刻、パネル、立体等 約300点 観覧者数：1,458人							九州産業大学芸術学部・大学院研究科卒業 修了制作展 2016 写真、映像メディア 約100点																				
市民ギャラリー B															福岡市中学校書作品展 書作品 約800点 観覧者数：751人														九州造形短期大学 第47回卒業制作展 絵画、彫刻、パネル、立体等 約300点 観覧者数：1,458人							九州産業大学付属九州高等学校 デザイン科 第50期生 卒業制作展													
市民ギャラリー C																													グループ・シェイク展 絵画、彫刻、写真等 約60点 観覧者数：544人														デザイン、絵画、彫刻等 約200点						
市民ギャラリー D																																											九州産業大学芸術学部・大学院研究科卒業 修了制作展 2016 絵画、彫刻、陶芸等 約100点						

2月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	3 ¹	2	3	4	5	6
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
特別展示室 A	マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展 (12/22～2/21)																																			
特別展示室 B	観覧料 一般 1,500円(1,300円) 高大生 1,000円(800円) 小中学生 500円(300円)																																			
市民ギャラリー A	九州産業大学芸術学部・大学院研究科卒業・修了制作展 2016 写真、映像メディア 約100点 観覧者数：1,589人																																			
市民ギャラリー B	九州産業大学付属九州高等学校デザイン科第50期生卒業制作展 デザイン、絵画、彫刻等 約200点 観覧者数：2,279人																																			
市民ギャラリー C	九州産業大学芸術学部・大学院研究科卒業・修了制作展 2016 絵画、彫刻、陶芸等 約100点 観覧者数：1,870人																																			
市民ギャラリー D	公益社団法人 日本広告写真家協会 九州支部写真展 写真 約60点 観覧者数：1,681人																																			
ファインアート展 絵画、書、陶器、絹物等 約1,000点 観覧者数：1,868人																																				
第65回 福岡市中学校美術展 水彩画、版画、デザイン、彫刻等 約4,000点 観覧者数：5,939人																																				
SEIEN写真倶楽部作品展 写真約 60点 観覧者数：578人																																				
第11回アイテム写真コンテスト「はたらくすがた」入選作品展 写真 約50点 観覧者数：389人																																				
2015年度 第18回絵画造形教室 おそらのぞうさん作品展 絵画、立体等 約300点 観覧者数：433人																																				
変化の極限と挑戦 書作品 約20点 観覧者数：733人																																				
第69回 二紀展 福岡巡回展 絵画、彫刻、等 約140点 観覧料 一般 700円 高大生 700円 中学生以下無料 観覧者数：人																																				
第22回 福岡市書道協会展 書作品 約260点																																				

3月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	⑳	㉑	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	4 ¹	2	3	4
	曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
特別展示室 A	第69回 二紀展 福岡巡回展 絵画、彫刻等 約140点 観覧料 一般 700円 高大生 700円 (中学生以下無料) 観覧者数：3,142人																																				
特別展示室 B	第50回 福岡市美術展 (前期) 日本画、書、写真、デザイン (入賞、入選作品を展示) 観覧料 一般 400円 高大生 300円 (中学生以下無料) 観覧者数：2,460人																																				
市民ギャラリー A	第50回 福岡市美術展 (後期) 洋画、彫刻、工芸 (入賞、入選作品を展示) 観覧料 一般 400円 高大生 300円 (中学生以下無料) 観覧者数：2,048人																																				
市民ギャラリー B	改組新第2回日展 (3/26～4/17) 日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書 約500点 観覧料 一般 1,200円 高大生 700円 (中学生以下無料) 観覧者数：2,866人 (3/26～3/31)																																				
市民ギャラリー C	第22回 福岡市書道協会展 書作品 約260点 観覧者数：1,557人																																				
市民ギャラリー D	準備																																				

講堂等

	講堂		教養講座室		実技講座室		版画工房室		合計	
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
4月	4	204	18	279					22	483
5月	5	505	11	270					16	775
6月	2	200	14	471					16	671
7月	6	700	13	245					19	945
8月	4	717	7	158					11	875
9月	3	250	12	297					15	547
10月	3	444	11	303					14	747
11月	6	655	8	194					14	849
12月	5	1,174	7	167					12	1,341
1月	9	1,018	9	198					18	1,216
2月	9	677	9	153					18	830
3月	8	644	13	230					21	874
合計	64	7,188	132	2,965					196	10,153

※実技講座室は平成25年6月から貸出中止

※版画工房室は平成27年4月から貸出中止

平成27年度月別観覧者数

月	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
4	26	3,227	1	974	8	19,839	9	24,040
5	27	7,627	0	11,356	20	18,796	20	37,779
6	25	3,512	0	9,821	25	19,751	25	33,084
7	27	4,823	0	0	20	22,170	20	26,993
8	25	7,235	1	18,739	18	18,999	19	44,973
9	26	7,482	0	29,503	22	25,347	22	62,332
10	27	6,560	1	14,654	12	15,884	13	37,098
11	25	8,767	0	17,418	16	14,755	16	40,940
12	24	4,254	1	11,166	9	11,291	10	26,711
1	24	13,183	0	68,539	6	10,857	6	92,579
2	24	19,931	0	129,289	10	17,359	10	166,579
3	27	4,295	0	0	4	12,073	4	16,368
累計	307	90,896	4	311,459	170	207,121	174	609,476

読書室利用者数一覧

小数点以下切捨

月	月総数(人)	開館日数(日)	一日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	426	26	16	426	413,978
5	570	27	21	996	414,548
6	398	25	15	1,394	414,946
7	428	27	15	1,822	415,374
8	569	25	22	2,391	415,943
9	476	26	18	2,867	416,419
10	417	27	15	3,284	416,836
11	405	25	16	3,689	417,241
12	271	24	11	3,960	417,512
1	470	24	19	4,430	417,982
2	719	24	29	5,149	418,701
3	353	27	13	5,502	419,054
年総数	5,502	307	17		

美術館協議会委員

50音順・敬称略・肩書きは平成27年度のもの
任期 平成26年7月1日から平成28年6月30日まで
(一部委員に変更あり)

会長	後藤 新治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	龍 秀美	詩人
学校教育関係者	納屋 亮	西長住小学校校長
	田畑 弘行	福岡市立北崎中学校校長
	宮崎 信介	博多工業高等学校校長
社会教育関係者	大森 節子	(公社)福岡市老人クラブ連合会理事
	木内 潤子	福岡市社会教育委員
	長嶋 りさ	福岡市PTA協議会副会長
	渡邊 敬一	福岡市青少年団体連絡会議理事
学識経験者	植野かおり	立花家史料館館長
	後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
	宇多川宣人	アジア美術家連盟日本委員会代表
	榊 晃弘	写真家
	友添 泰典	(公社)福岡県美術協会理事
	原田 真紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
	深野 治	「西日本文化」編集長
	藤枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
	室岡 祐司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

収集審査員

50音順・敬称略・肩書きは平成27年度のもの

近現代美術	尾崎信一郎	鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長
	西村 勇晴	北九州市立美術館長
	古田 亮	東京芸術大学大学美術館准教授
古美術	大橋 康二	佐賀県立九州陶磁文化館名誉顧問
	菊竹 淳一	九州大学名誉教授
	原田あゆみ	九州国立博物館学芸部企画課特別展室主任研究員

職員

館長	錦織 亮介	主任学芸主事	鬼本佳代子
副館長	中山喜一郎		神保 明香
美術館運営部長	萩尾 雅典	主任学芸主事	後藤 恒
運営課長	古賀 有子		宮田 太樹(9月～)
運営係長	吉崎 謙作	嘱託員	ギャレット三宅万里子
	山浦 操	嘱託員	中原千代子
	徳永美由紀	嘱託員	中務 美紀
	白銀 哲也	嘱託員	土橋佳那子
主査(美術館大規模改修担当)	山下 毅		
	福井 誠治		
嘱託員	谷口 政昭		
学芸課長	岩永 悦子		
学芸係長	山口 洋三		
	正路佐知子		
	吉田 暁子		
	渡抜 由季		

平成27年度
福岡市美術館活動の記録

編集・発行 **福岡市美術館**
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL : 092-714-6051

印刷 久野印刷株式会社
発行年月日 2017年1月16日

©福岡市美術館 2017年

福岡市美術館

FUKUOKA ART MUSEUM